

上地の風（第七号）

ふるさと上地  
4

岡崎市立上地小学校



上地の風(第七号)

ふるさと上地  
4

岡崎市立上地小学校

学区は土、子供は稲

校長 嶋田 稔

昔から「稲は土で作れ。麦は肥やしで作れ」といいます。学区は土、土壌であり、子供は稲であると思います。

この上地学区という素晴らしい土で、上地小学校の子供たちは、すくすくと成長しています。

ところで、自分の家庭に愛着をもち、自分の家庭を誇りに思うような子供は、すべて健全に成長いたします。

これと同じように、自分の学区、自分たちのふるさとに愛着と誇りをもち、ふるさとを大事にする子供は、りっぱに成長してくれること間違いありません。

こんな考えで、私たちは、郷土に学び、郷土を育てる心を中心に、学校づくりを進めてまいりました。

これを『ふるさと上地』として、第四集を刊行することができました。学区の皆様のご協力に対し、厚くお礼申し上げます。

なお、来年は上地学区・学校創立十周年を迎えます。その事業のため、この冊子が少しでも役立つことができれば幸いです。

# 目次

一、ふるさとシリーズ

一、春の上地八景めぐり……………1

二、「上地温泉」三十年前の試掘工事現場を追って……………8

三、砂川を探ると奥山田池と砂川の変遷……………24

四、砂川を探る②子どもたちと砂川……………31

五、砂川にすむ生物と第一次調査レポート……………38

六、上地八景絵葉書……………45

七、国道二四八号線を探る……………51

八、理想のスポーツ少年団活動を求めて①……………59

九、理想のスポーツ少年団活動を求めて②……………65

十、百年前の上地開発を追って（大谷坂貯水池工事）……………69

## 二、校長通信

一、四月八日のお地藏さん……………83

二、子育ては手づくりで……………85

三、うなり石……………86

四、「カワセミ大好きおばさん」からの手紙……………90

五、流れる水は腐らない……………92

六、科学部の楽しさ……………94

七、夢はでつかく……………96

八、「やった ホームラン」……………100

九、手と脳はつながっている……………102

十、「総代さん ありがとう」……………104

十一、廃品の中から宝が……………106

十二、上地小を支えてくださる方々……………108

## 三、教室の窓

一、「せんせい あのね……………111

二、楽しく勉強 魚屋の見学……………114

三、「けっちゃん」は楽しい遊びの代表だ……………116

四、歌声の響く教室に……………119

五、算数の楽しさを味わう……………122

六、絵本と六年生……………126

七、読書週間にあたって……………128

八、三十四人のビーバー、ダムを作る……………132

九、マラソンのどこが楽しいの？……………135



十、小さなスカイウォッチャーたち……………141  
十一、八百吉おじいさん……………137

四、学校ニュース

一、レインボータワーは朝から盛況です……………145  
二、保護者の出身県調べ……………148  
三、ベルマークは一点が一円……………150  
洋画「上地新開地」の寄贈……………151  
四、広田川からすっぱんがやってきた……………154  
五、ブラジルから学校参観……………157  
六、ナイター気分で2500人が参加……………159  
七、上地小ッゲンキ印ッ快勝……………162  
八、台風十九号始末記……………165  
九、忘れられない十月三十日……………167  
十、六十五冊の本をプレゼント……………168  
十一、ヤクシマやぎ飼育日誌(抄)……………167

五、寄稿

一、「上地っ子」は幸せ……………197  
二、子供の成長を考える……………198  
三、授業参観に寄せて……………200

四、「家庭ですぐに役立つ」と大好評……………202  
五、「あの子どこの子？見知らぬ子でも 今日からは皆我が子」……………206  
六、大盛況、上地学区親子夏祭り……………210  
七、初めて入学させて……………212  
八、子供の成長と学校……………214  
九、映画『おこりじぞう』を見て……………216  
十、全教室にCDラジカセ……………218  
十一、あんもち雑煮試食会……………220  
十二、早朝マラソン……………220  
十三、おいでん岡崎施設めぐり……………220  
六、ふるさと上地九年の歩み……………225  
一、近づく上地学区・学校創立十周年……………229  
二、昭和五十八年四月四日 創立式典を挙行……………239  
三、「上地の山が動いた」……………239

おわりに

一、ふるさとシリーズ

## 春の上地八景めぐり

青木 純

山吹は一重ひつよこそあれ風に散りきみを胸から染めあげていく 青木 純

一年二か月ぶりに上地八景を訪ねる機会がありました。大井先生、佐野先生にも同行をお願いし、今年新しく本校に赴任してきた松山、柴田、吉田、小田、松坂先生の八名で、十四日の午後に二時間ほどかけて見て回りました。

前回の上地八景を選定するときは、冬ということもあり、少し暗く澁んだ風景のなかで見たのですが、今回の春の明るい日差のなかの八景は、また異なった趣がありました。

訪ねたコースは、①百丈山三善寺↓②中電変電所湿地（上地湿原）↓③円光山寂靜寺↓④大谷公園↓⑤砂川↓⑥奥山田池でした。

このうち、上地八景を選定したときと比べてみて、変わったことや新しく分かったことなどがあつた③④⑥の印象と、新しく赴任してきた先生方の新鮮な目で見た上地八景の感想を記したいと思います。

### 《円光山寂靜寺》

まず最初に気づいたのは、新しく鐘楼ができていたことです。今年の三月に完成式があつたそうですから、まだ一か月もたつていません。本堂や山門などの落ち着いたたたずまいと鐘楼の新しさが少しアンバランスな感じもありますが、そのうち境内にうまく融けこんでいくことでしょう。

もうひとつびっくりしたことがありました。それは、以前、大きなヤマモモの木の下にあった畔柳五郎衛門翁の業績を記した石碑が無いのです。

畔柳翁は「続・ふるさと上地」にも書いてありますが、明治三十二年に堤入・大谷坂・渋田の三つの用水を増築し、それまでやせていて、あわ・ひえ・豆類などしか栽培できなかった上地北部の土地を水田に変えていった人です。

そこで、石碑が無いわけをご住職にお尋ねしようとしたところ、ちょうど不在ではっきりしたことが分かりませんでした。この疑問は、上地区画整理組合の二人の理事長さんにお尋ねして解くことができました。お話によれば、次のようです。

大谷公園の整備も終わったので、今まで寂靜寺にあずかっていた石碑を大谷池に移そうという話が持ち上がりまし。そこで、畔柳翁は大谷池の改修に業績があったので大谷池の見える場所に、今年の二月、移したというわけです。石碑はちょうど下の池から上の池に向かって歩いていくと、堤防の下の左側に見えます。

この石碑は、もともと第一組合の稲吉正美さんの祖父である藤作（藤六）さんが建立したものだそうです。

### 大谷公園

前日に書いたときは、噴水の工事が進められている最中でしたが、今回は大谷公園のシンボルともなった「平成の泉」が勢いよく噴き上げています。噴水は九時から五時まで出ているそうです。

公園内にある遊園地のキャンプ場の方に通じる道を歩いたことがありますか。何か以前とちがっていることはありませんか。道が舗装されたのです。ちょっと見ただけでは舗装かどうかよくわかりません。

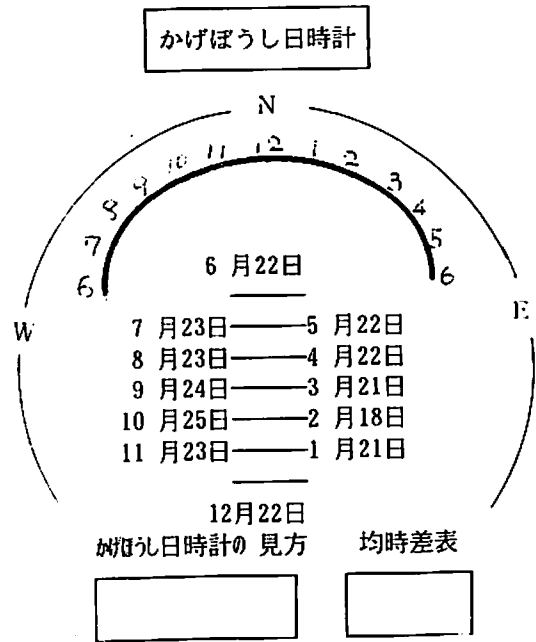
これは、ふつうのアスファルト舗装とちがい、砂とセメントを混ぜた舗装なのです。そのため、目が粗いので、ふつうの舗装よりも吸水性がよいということを、市役所区画整理課の榎田係長さんからお聞きしました。

このような舗装にした第二の理由は、舗装してあることが分からないように、つまり自然の土のような感じを出すことによつて、大谷公園の環境とよくマッチするようにしたのです。

同じような舗装は、市内に二、三か所あるそうです。使用された材料は少しだけちがうけれど、近い所では、緑丘緑道（馬頭緑道）に使われているそうです。また、都市の街路樹を守ったり、道路面の増水を防いだり、周りの環境とマッチさせることができメリットを持っているので、これからの舗装として注目を集めていくことと思います。

もう一つ、大変興味深いものがあります。「かげぼうし日時計」です。日時計は学校や公園などで時々見かけますが、かげぼうしの日時計は珍しいものです。

### かげぼうし日時計



かげぼうし日時計は、平面上に東西方向に長い楕円が描かれ、その中心に南北に添ってその季節を示す月日を目盛った線が描かれており、その日の日付のところに直立すると、その人の影がさす時刻がその時の時刻となります。

※「均時差表」は、かげぼうしが示した時刻を補正して、より正確な時刻を読みとるためのものです。

※ 「均時差表」は、かげぼうしが示した時刻を補正して、より正確な時刻を読みとるためのものです。

三回ほど、この日時計で時刻を確かめようと大谷公園に行きましたが、そのときはいつも日がかかかっていて一度もはつきりと自分のかげぼうしで時刻を指し示すことができませんでした。みなさんも、一度、よく晴れた日に試してみるといいですね。



参 考

六月二十二日	夏至	七月二十三日	大暑
五月二十二日	小満	八月二十三日	処暑
四月二十二日	穀雨	九月二十四日	秋分
三月二十一日	春分	十月二十五日	霜降
二月十八日	雨水	十一月二十三日	小雪
一月二十一日	大寒	十二月二十二日	冬至

※二十四節気のうち十二を使っています。

『上地八景を訪ねて』 同行した五人の感想

松山耕太郎先生

さわやかな新緑の候、上地八景を訪ねることができ、幸せを感じました。三善寺、寂静寺、大谷公園など、それぞれの特長があり、よかったと思います。特に、私は、十年前、福岡小に奉職していたので、この地を訪ねることに、なつかしさ、とその変貌に驚きと時代の変遷を感じました。

柴田美香先生

「上地八景」というものが学区の中にあるとお聞きしてまずびっくりしました。そして、上地小学校の先生方や学区に住むみなさんが「上地」という学区をとても愛してみえるんだな、と思いました。

私は旅行がとて好きで、旅先で有名な神社や寺院によく行きます。しかし、岡崎市内も身近な地区に目を向けてみたことはありません。今まで、(ああ、あそこか。前を通ったことがあるな。)というくらいで、深く知ろうともしませんでした。

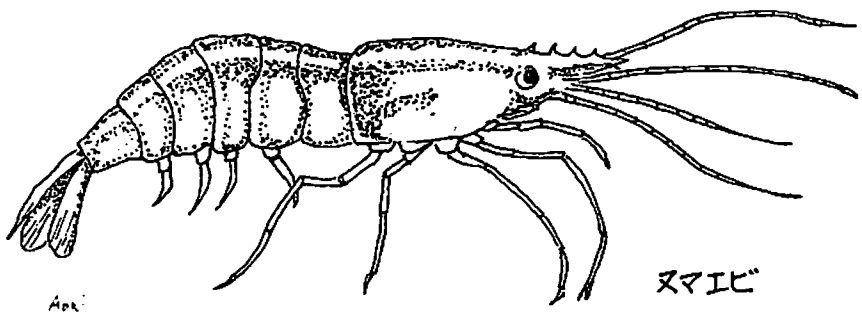
しかし、今回「上地八景」を案内していただき、身近な地区に興味を持ち、深く知ることの良さを感じました。

由緒ある三善寺、寂静寺、のどかな風景の中に広がる上地湿原、噴水のある大谷公園など、今度また、足を向けてみたいと思っています。



奥山田池を見聞する参加者





ヌマエビ

上地は住宅地で自然の生き物が少ないのではないかと思っていました。しかし、今回の見学でいろいろな所を見て、自分の想像以上の生き物が住んでいる所があって上地学区に興味を持つことができました。

まず、上地湿地。生活排水などで汚れてしまいましたが、鳥や魚や亀の住家となっていて、もっとも興味がある所です。周りに柵がしてあり外観が人工的でよくないのですが、そこに住んでいる生き物を調べてみたい気がします。

次に、大谷公園。池の魚にも気を引かれますが、カブトムシやクワガタもいそうな林も興味深い所です。また、焼き物のかま跡には驚きました。

最後に、奥山田池。人工的ですが、ヌマエビがいるということで非常に興味があります。ヌマエビのいる池を探していたので、一度採りに言ってみたいと思います。タナゴがいるといいのですが、ブラックバスやブルーギルも入っているということなので、ヌマエビなどが食われてしまっていないかと心配です。

松坂禎文先生

ついで、もう一度深く考えて行きたいと思います。

私は、岡崎の人間ではありません。岡崎といえば、「岡崎城」ぐらいしか知りませんでした。だから、「上地八景めぐり」で行った場所は、もちろん初めての所ばかりでした。お寺や公園、池などに行つて、そこにまつわるいろいろなお話を聞きました。学区の中に、こんなに歴史を感じる場所があるとは、とても素晴らしいことだと思いました。

また、大谷公園で、公園内を歩き回り、古いかま跡の話や植物の話聞くことができました。最近、緑の中をゆつくり歩くことなどほとんど無かったので、久し振りに気持ちよく歩きました。途中で、「タラの芽」に出会つて、味噌和えにして食べるとおいしいよ、と聞きました。これが料理番組によく出てくるあのタラの芽か、とついつい食べることはかり考えてしまいました。短い時間でしたが、上地の歴史にふれ、自然に接するよい機会でした。

吉田千鶴先生

小田英宣先生

私は、岡崎市の長年住んでいるにもかかわらず、この上地学区がどこにあり、どんな学区なのか、よく分からない状態で上地小学校へ赴任してきました。家庭訪問を自転車で行ったことにより、上地学区の町並を直接肌で感じる事ができ、区画整理されたきれいな町であると感心させられました。こうした状態の中、上地八景めぐりに同伴させていただき、また違った上地学区の姿を見ることができました。この上地八景は区画整理がされる以前の上地学区が想像されるほど、自然豊かな所や、歴史や文化を感じさせる建築物などばかりでした。こうした自然や文化が保存されていることを知るとともに、子供たちとともに、これらの上地の財産ともいえる上地八景に

# 「上地温泉」三十年前の試掘工事現場を追って

～岡崎市南部開発の夢を託したプラン～

松原 暁三

「先生はご存知でしょうが、この上地も昔は温泉が出るじゃないかということで、奥山田池の東を掘ったことがありますよ。」  
学校正門北の畑で農作業をしていた吉乃屋さんのおじいさんが、こう話して下さったのは、もう二年も前のことでした。区画整理事業もほぼ完成の時期に近づき、学校周辺が急速に近代的な都市に変貌しつつある中でしたので、にわかには信じられず、大きな衝撃を受けました。

そのためか、思わず失礼な質問を投げかけてしまったのを覚えています。

「本当ですか。どのへんで？」

「今の上地を見ているとは思えられないでしょうが、私の家の田んぼの近くでしたから、ある程度は覚えていますよ。」

「吉乃屋さんの田んぼは、どこにあったんですか。」

「勤労福祉会館の方でしたよ。」

こんな会話を交わして以来、ずっと、「温泉」が私の脳裏にこびりついていました。

去る四月二十一日（土）の午後、柴田勝社教委員長さんが来校されました。その折、二四八号線沿いの人生書房と柴田文具店の間で始まったガソリンスタンド工事現場で湧き水が続いていることを知らせて下さいました。

「みどりっぽい奇麗な水ですよ。」

こんなお話が契機となって、以下に記す三十年前の「上地温泉」跡の探索が始まりました。

## 一、勤労福祉会館の真下で「温泉」を試掘

「今の勤労福祉会館から上地小学校のへんまでは、ずっと山ばかりでしたよ。見違えるような変わり方です。」

上地の区画整理事業が開始される以前から、若松東に居住されている近藤則康PTA会長さんが、こう言われました。十年前から本格化した上地学区の開発を直接ご自身の目で見てこられた実感が込められています。

いよいよ、「上地温泉」の謎に迫るべく、特にその工事現場を確定するために、先ず吉乃屋さんにご足労をお願いすることになりました。こうして、四月二十六日、杉田克己氏（若松東二丁目五番地の二一昭和二年生れ）のお話をお聞きすることになりました。本校の青木純先生も、奥山田池東の歩道まで同行しました。勤労福祉会館の正面玄関が、歩道からくっきりと浮び上がっています。腕組みをし、過ぎ去った昔の上地に思いをさせ、記憶をたどりながらの話が始まりました。

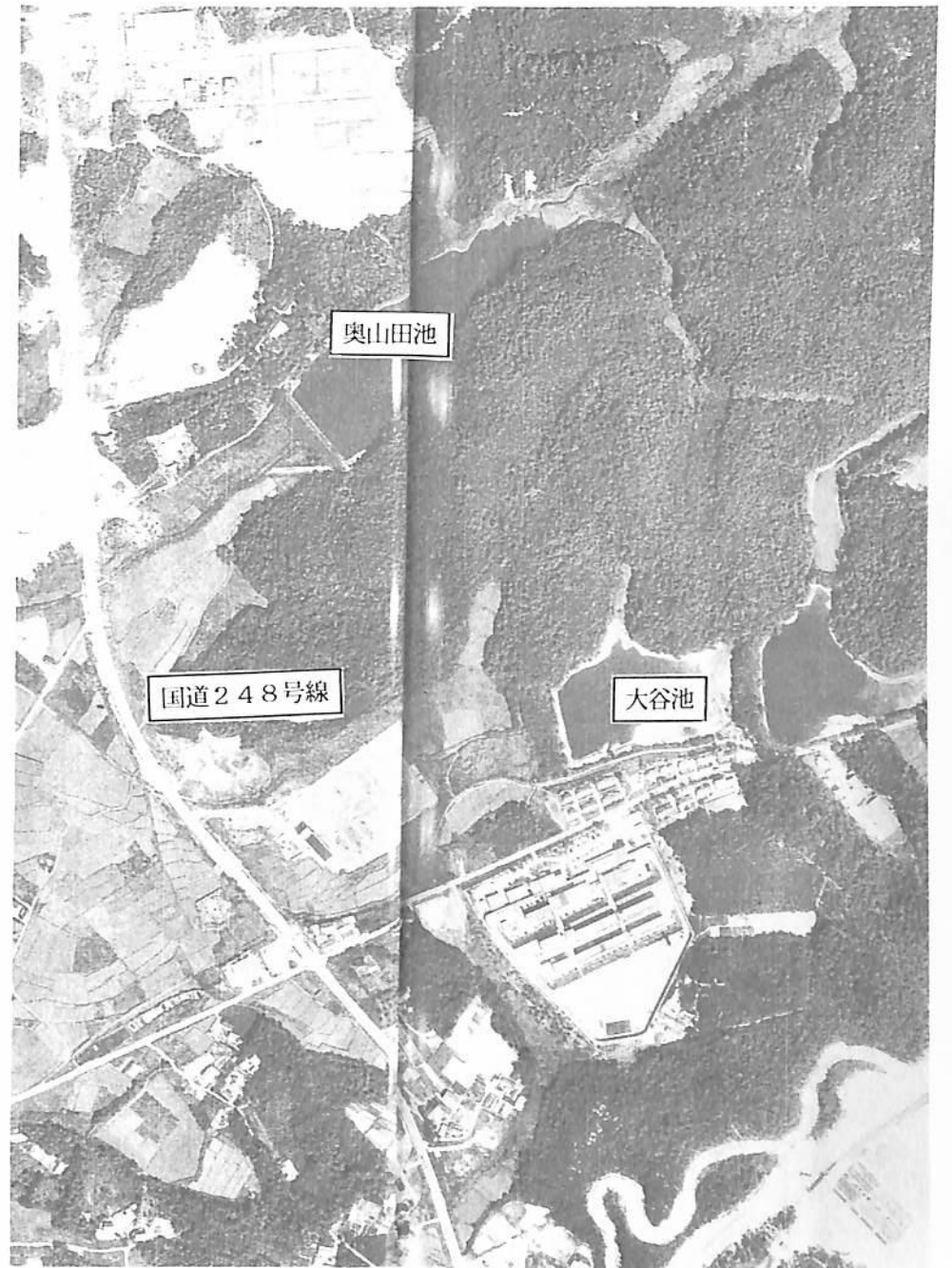
「このへんは、南北が山に囲まれ、その下に田んぼが連なっていましたね。」

青木先生の質問が、冒頭から、かなり具体的に地理的な状況を指摘したためか、杉田さんは、きっぱりと言われました。

「よく知ってみえますね。ちょうど、この福祉会館の北側に私の家の田んぼがありましたので、今の先生のお話で思い出しました。井戸のような穴を掘って、つるべ式でも言うんでしょうか、職人さんたちが数人で毎日仕事をしていましたよ。岩津温泉や西浦温泉より泉質がよいということ、張り切ってやっていました。そうですね、場所は、あの勤労福祉会館という字が書いてある壁面の真下のへんでした。」

子どもの頃、東楽園の近くに住んでいた青木先生の言葉がきっかけになり、杉田さんの記憶が当時の工事現場を鮮明に呼び戻していきます。そして、杉田さんが会館を指差しながら、静かに言い切りました。

「間違ありません。温泉掘りの井戸は、あの正面玄関の辺りでした。」



二、上地の山から赤茶けた水が奥山田池に注ぐ

～青木先生二十年前を回想～

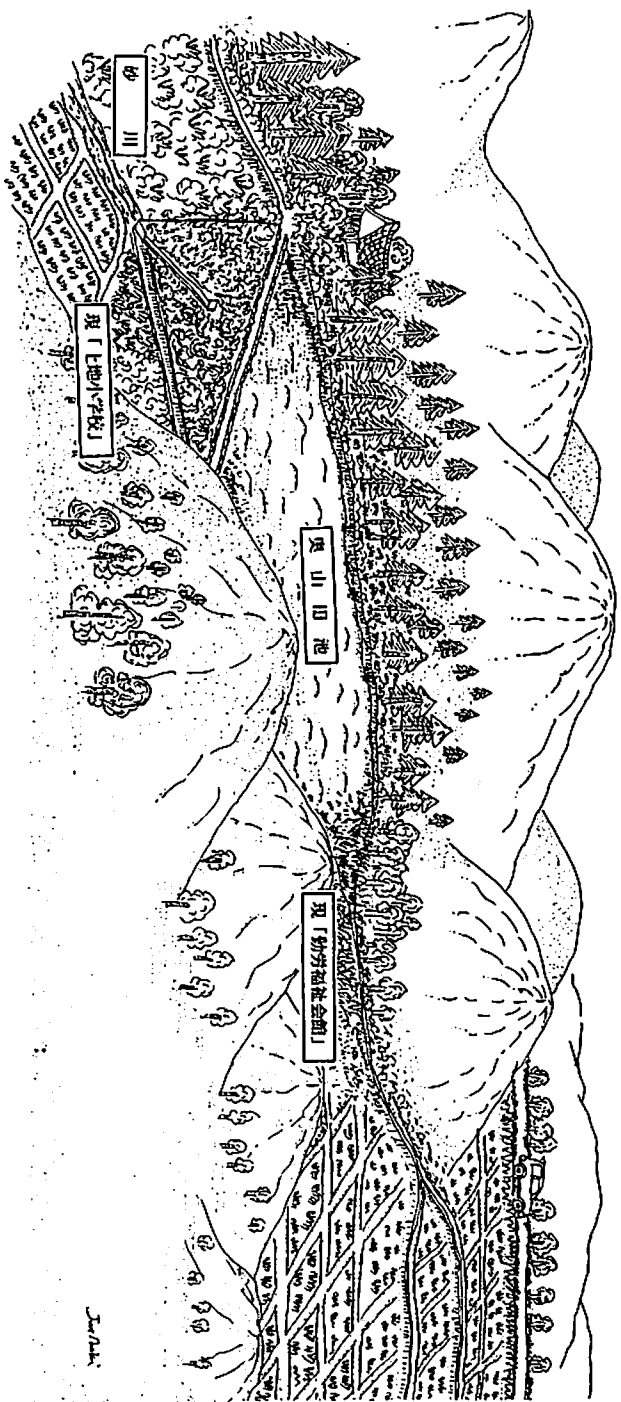
前ページに掲載した航空写真を見られた青木純先生が、少年時代を回想して次のような一文を寄せて下さいました。当時の上地学区、中でもこれから探索を開始しようとしている「上地温泉」の手がかりとして重要な内容を含んでいますので、できる限り詳細に紹介したいと思います。

この航空写真を見ますと、現在の上地学区の南北に国道二四八号線が通り、その東には山林のため池が目立ち、さらに西側には田んぼが広がっていたことが分かります。

奥山田池は、大谷池と同じで岡崎市南部の丘陵地帯南斜面に多く集まっているため池の一つです。私は高校生の頃、もう二十年前のことですが、東楽園の一番奥の所に住んでいました。

ある日曜日のことでした。少し時間をかけた散歩と探検をかねて、東楽園の山道を南に向かって奥へ奥へと入って行きました。その辺りの山は、およそ標高が五十〜六十メートルぐらいですが、意外と深い山でした。尾根づたいに、約二十分程歩くと急に目の前の視界が開けてきました。南斜面の所に出たのです。そこには、満々と水をたたえた池が見えるのです。それが奥山田池だったので。私は、その湖面を間近に見たくて雑木林を駆け降りて行きました。

水面は青く澄んでいて、湖面を西側に回り切るまでは、それが灌漑用のため池とはとても思えませんでした。池の北側には「白竜さん」のほころぎがあり、池はとても神々しく見えました。池の端には、アシやガマが密生していて湿地帯を形成していました。わずかでしたが、水田もあったと記憶しています。足を一步踏み入れれば、ズブズブと沈んでいきそうな感じがして



青木先生三折による奥山田池付近絵図

近づけませんでした。

教頭先生と一緒に、杉田さんからお聞きした「温泉」の地点は、この池の端の湿地辺りだろうと思います。そういえば、池にゆっくりと流れ込んでくる水の周りが赤茶けていたようにも思います。鉄分を多く含んだ水は、沈殿すると、周りに赤茶けたヘドロのような物を付着させることが多いのです。……………」

青木先生の回想は、今しばらく続きますが、それは別な企画の折にせむすべて登場させてほしいと思います。この日、先生は深い大谷の山々から奥山田池に下り、更に砂川沿いに歩き、今日では姿を見ることもないモウセンゴケの繁茂していた上地の豊かな自然に心を奪われておられたことでしょう。

## 二、岡崎市南部開発の夢を託してヤケウラを組む

（一二年余にわたった温泉試掘）

形に残った資料のない「上地温泉」は、どうしても、当時を知る方々からの「聞き取り」調査をお願いすることが多くなります。試掘地点は、ほぼ確定できてきたけれど、その規模や期間、そして施工者に至っては、「職人風の男」「数人の男」などとはっきりしない状況でした。そんな折、四月も終わろうとしていた時でした。柴田社教委員長さんが、来校されました。

「それなら、岡崎学区の市川登穂代さんがきつと詳しいので聞かれていますか。あの方は、当時も農業をしながら総代をしてみえたはずですから、南部地区のことをよく知っておられるでしょう。」

親切な助言を頂き、早速、若松町北之切二十四番地の自宅を訪ねました。

「そうですねえ、ずいぶん古いことですから、どこまではっきりしたことがお話できるか不安ですが、上地小学校の皆さん方のお役に立てるなら幸せです。」

やや日焼けした健康そのものの顔をほころばせながら、三十年前の「温泉」物語にお付き合いをして下さいました。青木先生が航空写真と昭和三十一年当時の岡崎市都市計画図をもとに書き上げられた「奥山田池之図」とだぶらせながら、お聞きしました。

「あれは、そうです。私が地元の総代をやらせて頂いていた時のことです。昭和三十三年から三十五年にかけてのことでした。その頃の助役だった浅岡齊さんが、市の商工課の職員を通して試掘を始めたんだと思います。もちろん、確たる見通しがあつてのことではありませんから、かなり私的な試みという面もあつたことでしょうね。しかし、岡崎市に旧福岡町を初めとする額田郡八か町村が合併した昭和三十年の後だったから、南部地区開発への気概がいろいろな分野に向けられていったのでしようね。」

市川登総代さんが指摘されたように、当時の岡崎は近隣市町村を相次いで合併し、大きく変貌を遂げようとしていた時期でした。『岡崎市史現代編5』によれば、

昭和三十年 福岡町・岩津町・豊谷村・藤川村・本宿村・山中村・河合村・常盤村の八町村を合併

矢作町を合併

家康まつりの再開

三十一年 東部簡易水道完工

三十二年 東岡崎駅舎改築竣工と岡ビル百貨店開店

戦災復興土地地区画整理に伴う町名変更実施

三十三年 伝馬公設市場完工

八帖下水終末処理場通水

三十四年 岡崎城復元完工

太田光二市長就任（市長選挙で竹内京治前市長を破って当選）

岡崎医療刑務所上地に移転

伊勢湾台風来襲

大西浄水場完成

と、続きます。

市川登さんが、言われるように、岡崎市人口が十万人台から十五万人台へと急速に増加を見せ始めたのです。こうした、状況の中で、市為政者は全市に新たな開発の可能性を探るべく勇猛果敢な行動を起こしていたのでしよう。

「当時市役所商工課の内藤次長さんが直接の担当者のようでしたが、すでに故人です。ご健在なら、おそらくその詳細が判明する筈なのですが、今となっては残念ですね。」

と市川さん。保守合同で自由民主党が誕生し、更には、日本が国連に加盟。そして、ソ連が人工衛星の打ち上げに成功するなど国の内外が大きく揺れ動いていた時期でもありました。

「こうなってくると、私の記憶には責任がありますね。」

こう前置きをされた市川さんは、目を細め、過去を一心に思い起こしておられるご様子です。

「そういえば、ヤグラを組んで、断続的に工事をしていましたね。ちょうど、井戸を掘るような要領でした。当時の岡崎市の学識経験者にも諮り、開発計画を立てていたのです。そこには、合併間もない岡崎南部地区開発への夢が込められていまし



た。ところが、二年を経ても、予期した程の温泉量が得られず、この工事は打ち切りとなってしまいました。浅岡助役が、岡崎支所に来られて『これ以上の見通しが立たないので、残念ながら温泉工事は打ち切ります。南部地区の皆さんのご協力に感謝します』と、挨拶されたことをはっきりと覚えています。助役さんは、確か『南部温泉』という表現をしたと思います。」「約二時間に及ぶお話が終り、「上地温泉」試掘工事の全容に大きな一歩となりました。

#### 四、少量だったが「ラジウム温泉」だった

（勤労福祉公社云館と並び矢崎公園でも試掘）

市川登総代さんのご紹介で、上地の生き字引と言われている加藤信太郎さん八十六才のお宅も訪ねました。この方は、今までも、このシリーズにしばしば登場頂いているので、ご存知の読者が多いことと思います。上地二丁目十一番地の自宅でご健在で、特にその記憶力は驚くばかりです。四月の二十九日、間もなく時計の針が正午をさそうという時刻。広い庭から日が差し込む隠居部屋で横になって休んでみえました。

「ああ、松原先生か、おいでだね。今日は何のお話です。」

嶋田校長先生とご一緒に訪問したり、この日のように単独で予告もなしに押しかけたりで、ご高齢にも拘らず、私をはっきりと覚えて下さっています。

「今日は、上地の温泉です。」

「ああ、あれか。」

殆ど何の前置きもなく、一気に話が核心に入っていました。もう、いつもの「生き字引」信太郎さんになっています。

「あれはもう、三十年以上前だね。今の奥山田池から東に三十間ぐらい東で二か所。それから、今の矢崎公園で一か所。全部で三か所で掘っておった。いつも五、六人はおった。わしの覚えでは、半年は続けておったと思う。矢崎公園になった所のはうちの山だったので、よう覚えておる。あのころは、ラジウム温泉が出るということで関心があったもんで、田んぼ仕事をやりながら、しいじゅう見に行った。温泉と言っても冷泉だけだね。」

「ラジウム温泉」などと、あまりにもはっきりしたお話に一瞬、わが耳を疑いました。

「井戸掘りの人は、『ラジウム』と言っていましたか。」

と、お聞きすると、こう付け加えて下さいました。

「ほや、そう言っておったよ。だけど、吹き上げる程の量がなくて、一尺から一尺五寸ぐらいの溝を流れておった。何なら、上地の成瀬稲蔵さんやドミーに魚屋をだしておる畔柳伸行さんにも聞いてみるといい。この人たちの山だったから、温泉を掘った場所は。」

次の機会をお願いして失礼しようとする時、「あのへんの山の沢水は、とても冷たくてうまかった。しみずがうまい、しみずがうまいと言っては飲んだ。」と、にっこりされました。

後日、お二人を訪ねた折も、同様なお話をお聞きすることができました。

「形原や岩津に温泉を掘った時だった。手掘り仕事だったので、たくさん出すに終わったけれど、今のように大型の機械で掘ったらどうなったか。温泉が出たかもしれないね。」（成瀬稲蔵さんー上地町宝六三十八番地）

「確かにうちの山だった。春から夏にかけて盛んに掘っておったようだ。」（畔柳伸行さんー上地二丁目四十三の二番地）  
「よう聞いてくれました。だけど、まあ、むかしのことになっちゃったので分からんらあねえ。」

成瀬さんは畑に鍬を置き、畔柳さんは包丁の手を休め、それぞれ親切なお言葉を頂きました。

## 五、人生書房北の工事現場でわき出る「奇麗な水」

（試掘現場から八百メートル西の地点）

柴田勝社委員長さんからお聞きしたガソリンスタンド工事現場は、冒頭でふれたように国道二四八号線沿いの人生書房北です。ここは、ちょうど、三十年前の「上地温泉」試掘地点から六百メートル西に下った場所です。勤労福祉会館から、ここに至る斜面は、すべて区画整理事業のため開発が進み、平坦な住宅地に一変しています。

大谷の山々からしみ出た「しみず」は、すべてアスファルト舗装の道路や宅地の地下深く隠れてしまい、今ではその片鱗さえも見当たりません。

ところが、このスタンド工事のため大型重機が地下三、四メートルに穴を掘り進んだ時、「みどりっばい奇麗な水」がしみ出し、水中ポンプで汲み出さなければ溢れてしまう程の量となったのです。

晴れの日が続いた五月の初め、柴田委員長さんに同行しました。知らせて下さったように、国道に接する現場の南西角に一边が五メートル、深さ一、五メートルの穴が掘られていました。工事現場の東側からしみ出す水が、自然の「水路」を形成して、流れ込んでいます。

「本当ですわね、奇麗な水ですね。」

二リットル入りのプラスチック容器に汲んで学校に持ち帰りました。

「これは、勤労福祉会館の所で水道（みずみち）を断られた『上地温泉』じゃないか。」

「そんな、この花崗岩地帯で温泉など考えられない。」

「いやあ、とにかく三十年前の実績がある。調べる方法はないか。」

冷蔵庫に入れられた「温泉？」をめぐるって、職員室がにぎやかになってきました。

五月九日（水）の昼前、青木先生や岩瀬校務員さんと一緒に容器五本とバケツを持って、更に多くの「温泉」採取に出発しました。柴田文具店さん奇りの「泉源」からは、見るからに鉄分の多い赤茶けた地下水を汲みました。そして、人生書房さん奇りの穴からは「みどりっばい奇麗な水」を汲み上げました。バレー少年団の夏目安孝さんが仲介の労をとって下さり、泉度調査を担当して頂く愛知県衛生研究所に届けるためです。

穴に流入する水量を測定した結果、毎分三、四リットルから三、六リットルで、これは水道の蛇口を中程度に開いた流量の約半分にあたります。工事が休止する夜中も、各所に掘られた穴には水中ポンプが投入され、口径五センチメートルのホースから排水作業が続いています。こうしたことから、更に工事が進行し、地下深くに掘られるガソリンタンク地点に達すれば一層その量が増大するに違いないと思われれます。

これがもどで、とんだハブニングも起きました。この日、採取した赤茶けた方の水を職員室の冷蔵庫に、「飲めません」と注意書きを張って保存したところ、夕方見ると、コップ一杯分ほど減っていました。

「おかしいなあ、誰か捨てたのかなあ、この水？」

冷蔵庫からポットを取り出して声を上げました。

「ああ、私が飲んだ。コーヒーじゃないのかん。あんまりうまくないなあと思ったので一杯飲んだだけけど。」

緑化の仕事で汗をかいて職員室に戻って来た佐野佳三校務主任が、頭をかきながら大声で笑いました。

「えっ、あれは上地温泉？だよ。」

一瞬目を見合わせた職員。ところが、心配をよそに、明るる朝もお腹の不調を訴える様子もなく、当の佐野先生は、益々健在です。

さて、重要な調査結果をご報告しなければなりません。五月十七日(木)の夜、夏目さんがお届け下さった「成績書」を掲載します。

愛知県衛生研究所による「温泉予試験成績書」

色	濁	臭気	PH	塩素イオン	炭酸水素イオン	炭酸イオン
淡黄色	混濁	なし	六、四	十一・〇	一一四・〇	—

二酸化炭素	電気伝導度	硫化水素	鉄	フッ素	ラドン
四十三・八	二五六・〇	—	〇・一	〇・〇	未検査

備考

塩素イオン、炭酸水素イオン、炭酸イオン、二酸化炭素、硫化水素の数値はいずれも一リットル当たり何ミリグラム含むかを表わしています。

炭酸水素イオン・炭酸イオンについては、温泉値の半分近い数値に達し、二酸化炭素や鉄分も多く検出されていることが注目されます。「煮沸すれば、飲料水にもなる」との成績を得ましたが「上地温泉」には至りませんでした。

六、「上地温泉」を終るにあたって

記憶から消えかけていた三十年前の夢を追う、このシリーズもそろそろ終わらなければなりません。上地学区が沸き上がるような「温泉」物語にはなりませんでしたが、これによって、いくつかの重要な発見をしたり、今後の研究課題を明らかにするなど貴重もありました。

この道には、予備知識もなく、調べては壁にぶつかり遅々とした歩みで右往左往していた私を学区内外の方々が支えて下さいました。校内では、青木純先生を初め多くの先生たちから激励を頂き、何とかここまでできました。一応の調査が終った今、私の手元には青木先生から寄せられた一通のメモがあります。次にその要旨を紹介し、シリーズでよみがえった「上地温泉」への新たな検討が開始されることを願っています。

ラジウム温泉

ラジウム温泉とは、放射能泉のことを表している。放射能泉は、ラドンが30×10<sup>10</sup>。キュリー以上か、または、ラジウムが10<sup>10</sup>以上でなければならない。一般的にいうと、花崗岩地帯を通過した水はラドンまたはラジウムが含まれている可能性はある。

岡崎の基盤岩は花崗岩だから、上地で温泉が出たとすれば、ラジウム温泉(ラドン温泉)に違いない。

信太郎さんや井戸掘りの人がラジウム温泉といったのは、うなづける。こういった意味からも、愛知県衛生研究所で、ラドンについて未検査というのはちょっと残念な気がする。

## 予想される「上地温泉」

「上地温泉」を予想してみると、次のような温泉ではなからうか。

- ①冷泉である。(二十五度以下)
- ②鉄分、ラドンを含んだ鉱泉である。(無機化学成分が含まれている)
- ③中性泉である。(pH 6.4だから中性泉のpH 6~7.5の範囲にある)
- ④地下水型温泉である。(普通の地下水が単に地熱によって加熱されたもので溶存成分にとぼしい)  
※地下増温率………100メートルごとに約二度下がる。
- ⑤鑿井(さくせい)泉である。(ボーリングの穴から湧き出したり、汲み上げたりしたもの)

## 付属資料(広辞苑より)

### その一 温泉

地熱のために平均気温以上に熱せられて湧き出る泉。多少の鉱物質を含み、浴用または飲用として医療効果を有する。硫黄泉・食塩泉・炭酸泉・鉄泉などがある。

わが国の温泉法では、地中から湧出する温水・鉱水および水蒸気その他のガスで摂氏二十五度以上の温度を有するか、または溶存物質を一キログラム中規定量以上(100mg/l)含有するものを温泉といっている。

### その二 冷泉

温泉より温度の低い泉。日本では摂氏二十五度以下のものをいうことが多い。

### その三 ラドン

稀ガス類元素のひとつ。ラジウムの崩壊に際して生ずる気体。

### その四 ラジウム温泉

ラジウムの含有量の多い鉱泉。三朝(みささ)・増富温泉が有名でリュウマチなどに特效がある。

### その五 $\mu\text{s/cm}$

$\mu$ (マイクロ)………マイクロン(一ミリメートルの1000分の一)

$\mu\text{s/cm}$ (マイクロ秒センチメートル)とは、電気が1センチメートルの距離を伝わるのにどれだけの時間がかかったかを表わす単位。数値が低いほど電気伝導度が高いといえる。

## 砂川を探る（奥山田池と砂川の変遷）

名倉 嘉章

上地学区を流れる唯一の川、砂川。この砂川の生物相についてのレポートが、青木先生の手により『学校だより上地』七月号に掲載されました。そこで今回は、砂川がいかに現在の形になったかという経緯について、その水源である奥山田池とともに考えてみたいと思います。尚、砂川を始め奥山田池の以前の様子については、お話を若松町総代の市川登様にしていただきました。

### 一、区画整理以前

奥山田池の北西、管理小屋に隣接して、『奥山田池改良工事』の記念碑が建てられています。この碑の裏書きには、次のように記されています。

#### 記

- 一、明治二十年 砂防池として 新設
- 一、昭和廿七年 奥山田土地改良区設立  
改良工事 着工
- 一、昭和廿九年 工事 竣工
- 昭和三十年十月建立

奥山田池は、明治初年の大洪水の後、洪水対策として作られた砂防用の大きなため池です。現在の砂川はここを水源としていますが、以前はその源をさらに奥に求めることができたでしょう。砂防池として丘と丘の間に堰（せき）を造る工事は、当時としては大きな規模の工事だったことが予想されます。

その後、農業用水としての役割も含め、奥山田池と砂川は、下流域の人々の生活を支えてきました。

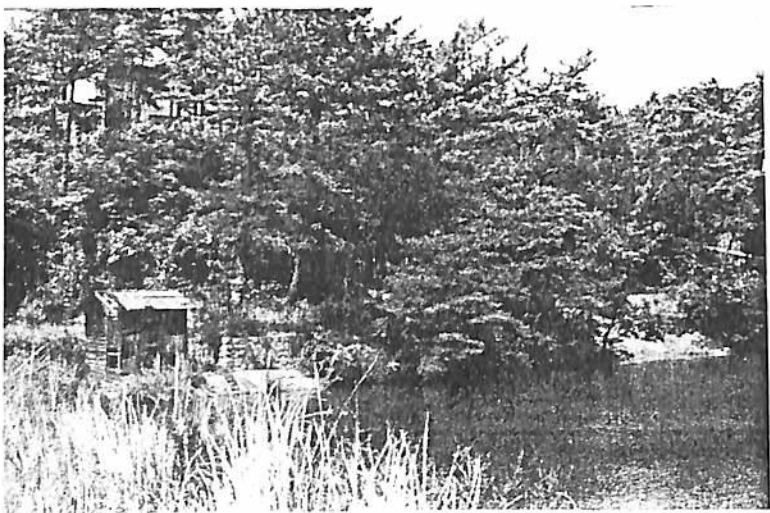
昭和二十七年、奥山田池の西側堰堤（えんてい）の老朽化に伴

い、当時のお金で一千万円の国庫補助を得て、改修工事が行われました。「今のお金に直したら、十倍としても億。億ではきかんだらうなあ。」とは、市川さんのお話です。なにしろ人夫賃が、一日一円というのですから、その規模の大きさも想像できると言うものです。まだすべてコンクリートではなく、堤防を赤土でこつこつたたいは作ったそうです。

当時の砂川は、用水として利用されており、幅も狭くて一間（約一、八メートル）ほどで、人が入り込んでも分らないほど兩岸に葦が生えていたそうです。水の流れも悪くなるため、毎年七月中旬のころには、大谷（上地）・若松の人が総出で草刈りをしていたそうです。

「魚はおったよ。ふなやなまずもおったし、いろんな魚がおった。当時は水がきれいだったもんね。幅が一間、深さも二、三十センチだったもんで鯉はおらんかったなあ。モロコやハエもおった。池を改修する時に、腕くらいの太さのうなぎもおったなあ。」とは、市川さんの回想です。昭和四十八年より始まる区画整理以前は、捕れたふなを食用にもしていたそうです。

昭和四十八年頃から、砂川の改修が行われ、総延長八百メートルくらい（奥山田池から旧二百四十八号線にかけて）がコンクリートで固められたということです。若松、上地、さらには緑丘の区画整理が始まり、水の大量流出に備えての工事でした。



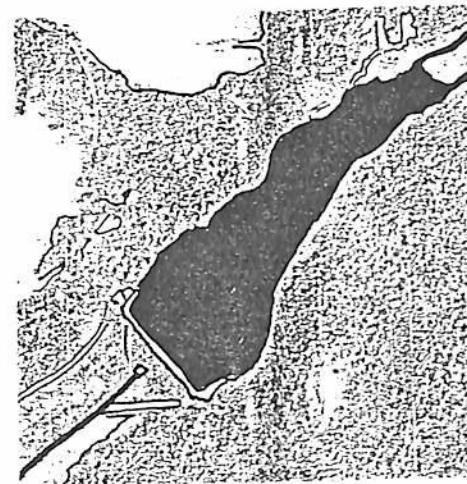
改修工事前の奥山田池（柴田 勝氏提供）



一、区画整理以後の変化

a 奥山田池の変化

△昭和四十八年▽



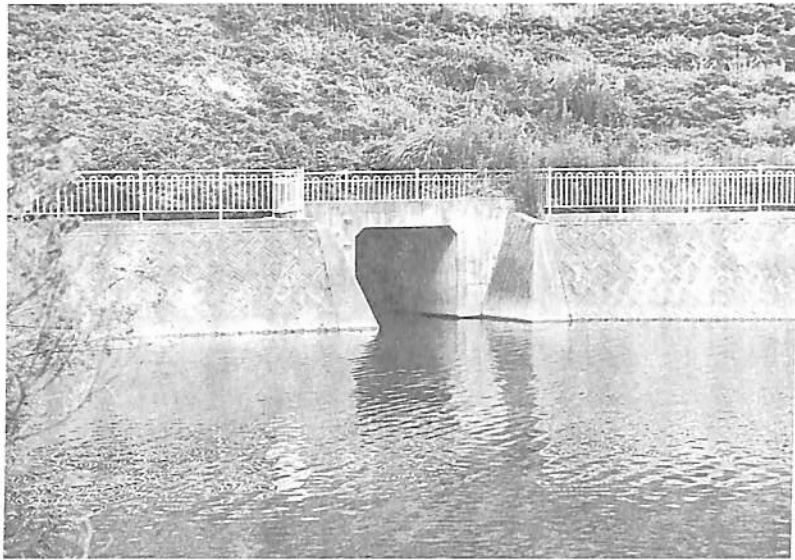
△平成元年▽



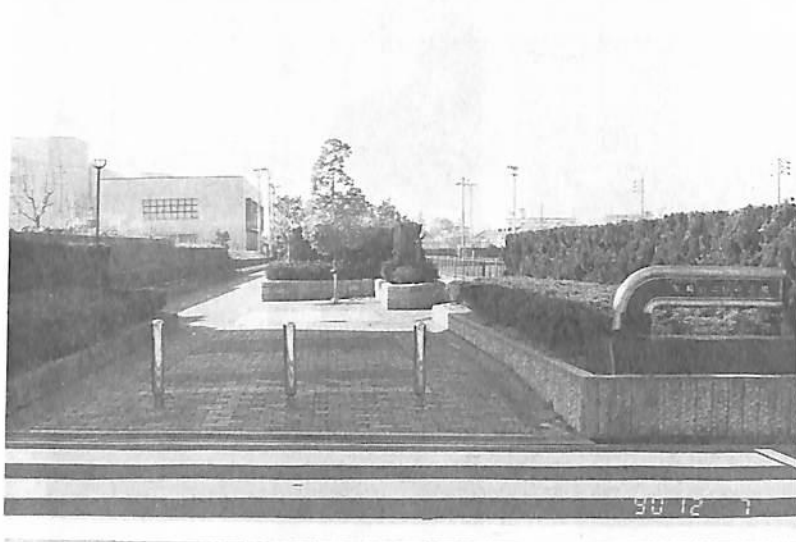
区画整理事業の前と後とは、奥山田池の様子が一変していることに気がつかれると思います。大きな変化として、池の形自体が変わったことと、砂川への出水口が変わっています。砂川とのつながりについては後に説明させていただくことにして、形の変化について若干述べてみたいと思います。

西側の堰堤および南側の森の端は、ほとんど現在のままですが、北岸は森の一部を残しつつ護岸工事が施され、奥山田遊園として変貌を遂げています。大きく変化している部分は、東側の流れ込みの部分です。この部分を埋め立て、現在は愛知県勤労福祉会館が設置されています。その分、奥山田池は小さくなったと言えるかもしれません。

そのほか、気づかれたでしょうか。区画整理施工以前の奥山田池には、流れ込んでいる川筋が見られます。現在の緑丘学区から流れ込んでいるものですが、施工後の写真にはこれが見られません。どうなってしまったのでしょうか。実は、埋め立てによって地下二、五メートル角のボックスの中を流れているのです。馬頭緑道の終点に位置する矢崎いこいの広場（幅十一メートル、延長百五メートル）はこの水路の上に作られているのです。



緑丘より流れ込み-奥山田池

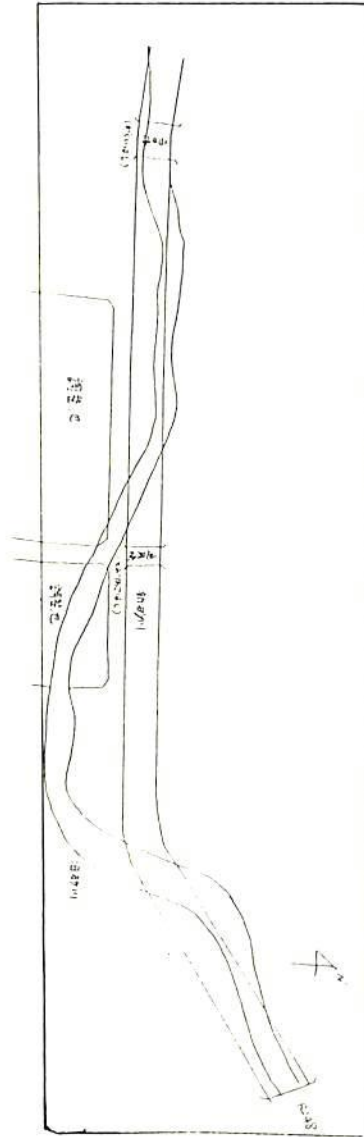


矢崎いこいの広場

b 砂川の水路変更

昭和二十八年には、地元によって川向橋までは、コンクリートが打ってあったそうです。しかし、区画整理にともない、今までの砂川の幅（三メートルほど）や深さでは水量に対応しきれないということで、川幅を広げ、深くする治水事業に取りかかりました。さらに、自然に形成されていた川筋も区画整理に対応して、整備されていきました。

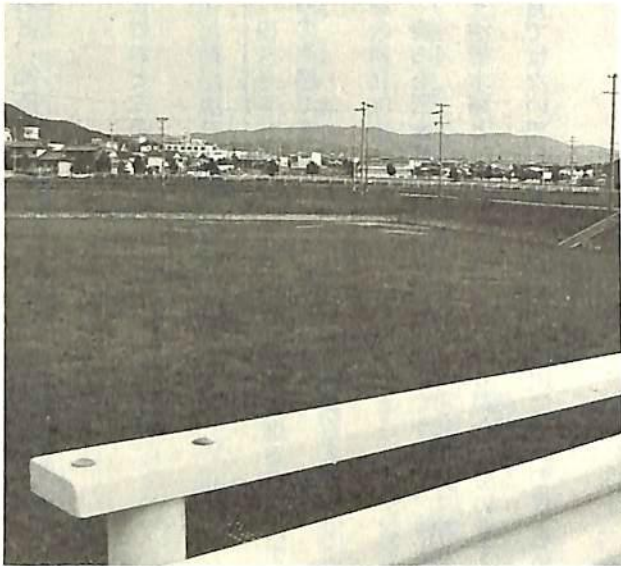
△水路図▽



改修された砂川

c 調整池の役割

国道二四八号線と岳井橋の間、砂川の南側に調整池が二ヶ所作られました。ことに、八門（ようかど、現在のサークルK付近）には、大谷池からの水との合流地点があるために下流域での水の量を調整する必要があるためと思われま。幸運なことに、この調整池ができたために下流域において洪水が防がれた、というほどの災害発生は今のところはないそうです。子どもたちは『砂川グラウンド』と呼んで、遊びの場所として利用しています。



現在の調整池

d 生活排水路としての砂川

区画整理施工以降、砂川と奥山田池は従来の治水・灌漑という目的のほかに、生活排水路としての役割を負わされることとなりました。以前は、水が澄み、捕れた魚を食用にしたほどの川でしたが、人工の増加とともに生活排水の流れ込みが増え、汚れも目だってきました。その源流に当たる奥山田池も、池の水の富栄養化が進み、藻の繁殖が激しく、夏の暑い日に悪臭が漂います。砂川も排水の匂いが鼻につき、今では子どもたちが川の中で魚取りをするといった風景を見かけることが、めっきりなくなっていました。

さらに近隣道路の交通量の増加とともに、空き缶やビニール系のゴミ、大きいものではバイクや自転車が水面を見え隠れしています。子どもたちは『ドブ川』と呼ぶことさえある川へと変化をしてしまいました。

## 二、砂川をもつと身近な川へ

六月に、釣りクラブの子どもたちとともに砂川の生物調査をした際、子どもたちは「こんな汚いところに、よく住んでいるなあ。」と驚きの声をあげました。七月の十八日には、クラスの子どもたちと『砂川奉仕活動』と名づけて、岳井橋の手前までの清掃活動を行いました。自転車、空き缶、ビニール袋など、たくさんのゴミが砂川に落ちていました。活動をしながら子どもたちにそれとなく、砂川との関わりについて話を向けてみます。

- ・ 初めて川に来たよ。だって、匂いが臭くて近寄れなかったもの。
- ・ 入ってはいけませんと言われてたから入ったことなかったけれど、ぬるぬるして本当に危ないね。
- ・ この匂いさえなければなあ。散歩とか、遊びに来てもいいんだけどなあ。
- ・ 何で家からもっときれいにしてから出さないのかなあ。

時には、土手から突き出た排水にかかりながら、作業した子どもたちの実感です。

先に述べてきたように、砂川と奥山田池は上地学区の発展とともに、自らも形を変えてきました。そして今なお、砂防や雨水の排水調整を含む治水の働きを、灌漑用水としての働きを、さらに生活排水路としての働きをしっかりと果たしています。砂川や奥山田池なくして上地学区のこれからの発展はないと言っても過言ではないでしょう。今後も、砂川についてさまざまな角度から考えていきたいと思います。

## 砂川を探る② ー子どもたちと砂川ー

名倉 嘉章

『学校だより上地』八月号で、奥山田池と砂川の変遷について触れてきました。区画整理以前の様子、区画整理以後の急激な変化、砂川はその顔を大きく変えてきました。かつては、子どもたちの格好の遊び場であった砂川。しかし、今では生活排水路として重要な役割を担い、そのため子どもたちとの距離は広がってしまいました。ゴミが散乱し、悪臭さえ漂う川では、遊び場であるところか、不衛生で危険な場所とも言われかねません。何とか子どもたちと砂川の距離を縮めることはできないものだろうか。今回は、五年二組の子どもたちが、七月に行った砂川の清掃奉仕活動について報告します。

### 一、砂川は近くて、遠い

学級活動の時間に、一年間を通じて奉仕活動に取り組もうという話が出た時、ある子が砂川清掃を提案しました。一学期の半ばに、釣りクラブで砂川に魚採りをした子です。その時です。ふとほかの子のつぶやきが耳に入ったのです。

「砂川ってどこ？」

最近引越して来たというのならまだしも、答えた子が上地の地に住んでウン年という子でしたから、驚きました。名前を知らないだけでなく、近くで見たことがないという子どもたちもゾロゾロ出て来たからです。砂川は、今の子どもたちにとってそれほど遠い存在になっていたのです。臭い、汚い、危険と「3K」のそろった現在の砂川では、しかたないのかもしれない。

しかし、砂川は学区の中心を流れる唯一の川です。上地八景の中にも取り上げられました。生活排水路として、砂防・雨水

排水を始めとした治水路として、灌漑用水路として私たちの生活を支えている重要な川なのです。子どもたちの中から、砂川清掃の話が出た時、（これは、子どもたちと砂川の距離を縮めるいい機会だ！）と喜ばずにいられませんでした。

## 一、 砂川清掃奉仕活動に取り組む

五年二組の砂川清掃活動の様子は、小浜悠美さんの作文で紹介したいと思います。当日までに、「奉仕活動は、『人のために』やってやるぞと構えて行うのではなく、自分たち自身の成長のために行おう」と話し合い、計画をわけて実行しました。

### 『クラスが団結した奉仕活動』

五年二組 小浜 悠美

せみがあちこちで、元気よく鳴いている七月十八日。朝から三〇度を越える暑さとじりじりと照りつける太陽の下で、五年二組のクラスによる奉仕活動が始まりました。『砂川をきれいにしよう。』を合言葉に、今日まで学級活動で話し合いを進めてきました。クラスの力が試される時です。全員がはりきって学校を出ました。

砂川の上流につくと、すぐに川の中に入りました。足元は、ぬるぬるとしてすべりそうなので、転ばないように注意しながら、ごみ拾いを始めました。

「うー、くさいー。ひどいにおいだなあ。」

「鼻がばかになってしまいそうだ。気持ち悪いよー。」

あまりのひどいにおいに、あちらこちらから悲鳴に似た声が聞こえてきました。それもそのはず、砂川にはこの付近の生活廃水が流れ込んでいるからです。

「どうしてきたない水を砂川に流すんだろう。排水専用のタンクや水路を作って、川へ流れ込まないように工夫できないのかな。みんなで別の方法を考えれば、きつときれいで多くの子が遊べる場所になるのに、残念だな。」

でも、もっと驚いたことに、こんなにくさくさしてきた川にも、ザリガニやどじょうなど生き物がいたのです。私はもちろん、クラスのみんなも、この小さな生き物たちがとてもかわいそうな気持ちになりました。

それでも全員でがんばって、中流へと空き缶やびんやゴミを拾いながら進むと、

「あっ、こんなところに自転車がすててある。」

「こっちは鉄の棒だ、こしかけもあるぞ。」

友達の声にみんながびっくり。自転車はかなり前からすてられていたようで、もがびっしりこびりついていて、いくらこすっても取れないほどさびついてもいました。その他にも、自転車が四台。脚立、鉄の棒多数、ガラスびん、こしかけなどなど。まるでごみ置き場と間違えてしまうほどの、粗大ゴミの山でした。

「もう終わるから、全員川からあがれ。」

という先生の声に、私たちは、

「やっと終わった。学校へ帰ってシャワーが浴びれるなあ。」

と、誰もがこのたまらないにおいから早くきれいになりたいと思いました。

シャワーを浴びたときの気持ちの良さは、何とも言えない幸せな気分でした。砂川の奉仕活動を通して、一人一人の小さな力の団結が、大きな力となったのです。その満足感が私と同じようにみんなの心の中に広がったことは、みんなの笑顔を見ればすぐにわかりました。

私は今回の奉仕活動を通して、



「自分たちの住んでいる学区内でさえ、砂川のようにゴミの山になっているところがたくさんある。これが岡崎市、愛知県とどんな地域が広がったら、いったいどれほどあるんだろう。今までのようにきたないことがわかっている、いつかどこかのだれかがやるんだろうなんて、知らん顔をしてはいけいないだ。」

と、強く感じました。確かに砂川のそうじは暑さとおいの中、クラス全員がばててしまうくらいきつい作業でした。腰まで水につかって川底のゴミを拾ったり、頭からどろ水をかぶったり、すべて転んですり傷を作りながらも、ゴミをたくさん集めて何とかきれいにすることができました。半日という短い時間だったけれど、私は住んでいる地域や人々のために、自分たちの力で行う活動が、いかに重要な役割を持っているか、少しわかったような気がします。

私は今まで、ボランティア活動をしている人が、せっかく自分の遊んだりできる自由な時間を奉仕活動のために使い、一生懸命働いている理由がよくわかりませんでした。先生から、ボランティア活動をしている人たちは、地域や人々のためばかりでなく、自分自身のために役立っていると考えて活動している人もたくさんいるんだよと聞いた時、

「どうして、自分自身のためになるんだろう。何の役に立つんだろう。」  
と、さっぱり意味がわかりませんでした。

人のためにつくす、人のために役に立つ、言葉では簡単に言えることであっても、実際に自分で働いてみると、頭で想像していたことよりずっと時間や手間がかかることがわかりました。そんな自分自身に少しも得にならないことを本当に心から、

「自分のためにも役立っている。」

と、思って活動している人がいるなんて、とても信じられなかったのです。

でも、砂川のそうじにクラス全員で取り組んでみて、奉仕活動に対する私の気持ちが少しずつ変わってきました。やっ

ぱりみんなが協力して、よごれた川をきれいにすることは、すばらしいことです。自分のふるさとを愛する心がまえを持つことは、大切なことです。砂川のそうじをしてから、私たちクラス全員の心がそのひとつの目標に向かって協力でき、すばらしい仲間作りができるようになりました。私たちは、奉仕活動によって自分自身を高めることができました。

私は、これからは奉仕活動のチャンスがあれば積極的に参加しようと思います。そして人のために働くのだといはるのでなく、損とくを考えないで、自分自身のために、真剣に汗を流して働くことのできる人間に成長していきたいと思

います。これからは、もっと友達やまわりの人たちに声をかけ、一人でも多くの人たちと助け合い、協力の輪を広げていきたいと思

## 二、砂川を身近な川に

子どもたちは、砂川清掃活動に取り組んだ後の感想の中で、

・砂川を魚のたくさん住む川にしたい。

・砂川を子どもの遊べる場所にしたい。

と述べていました。確かに、現在の砂川にそれをすぐに要求することは困難なことです。（生活排水路としての重要な役割があるため。）しかし、今実行可能なことは私たち大人も考えていかなければならないことではないでしょうか。



上地のみなさまへ

このよからのお願い

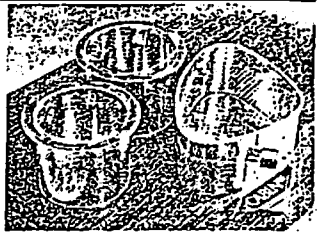
砂川について

砂川のそうじをしました。砂川は家庭は水が流れこみぬといくさきでした。でも、みんな学級活動で決めておいのくさきなどにもがまんして、そうじに取り組みました。自転車など粗大ゴミのみでした。探せば探すほどゴミはふえます。なぜ、自転車などを川に捨てる、自分の地いきの川かきたなくてもそれでいいんだらうか。と思いました。でも、そんな、きたない川にも、数ひき魚が住んでいたのです。思いがけなかったことでしたが、この魚たちが、どの魚よりかわいく思えました。

よぶかけたいこと

1. ゴミやあきかんなどの投げすてしないようにしよう。
2. 川などに害のない石けんを使えないでしようか！
3. ストレーナーなど使ってもらえないでしようか。

1990年(平成2年)9月19日(水曜日)



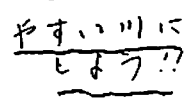
台所排水の生ゴミを  
ストレーナーで  
網目の細かい  
ストレーナーを  
半額補助で  
あっせん

中日新聞 九月十九日(水)  
三河版より

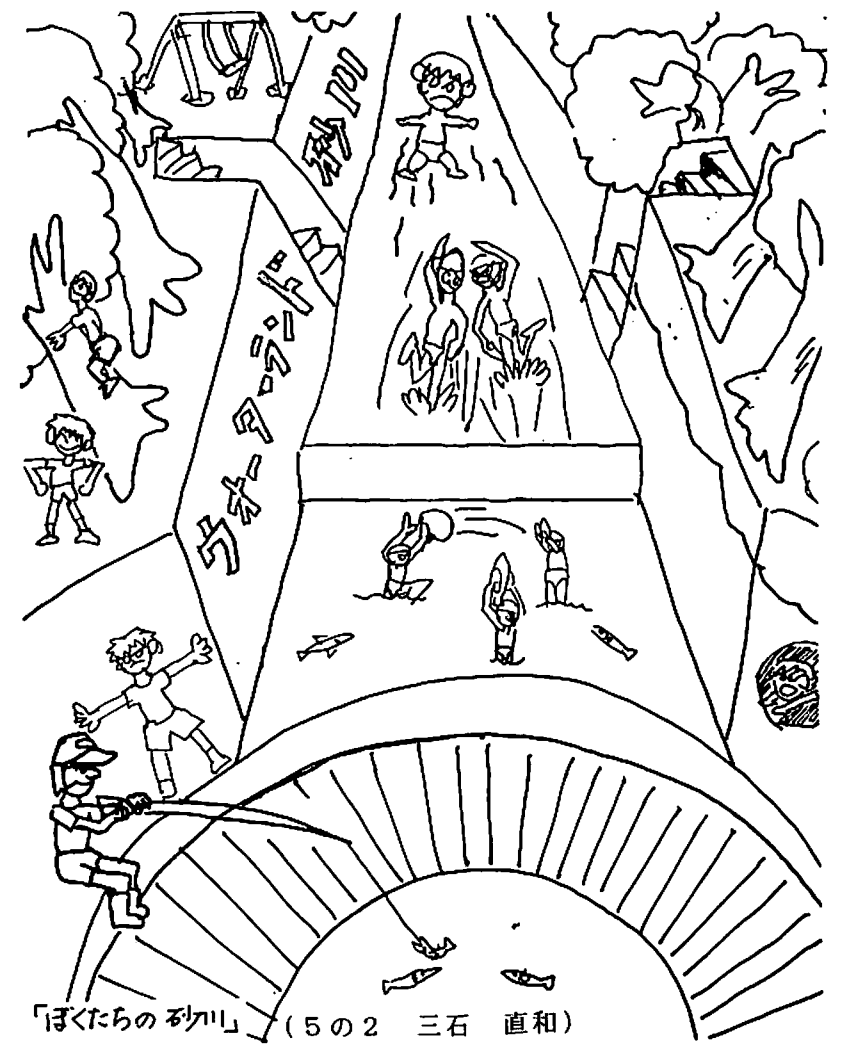
砂川を魚の住みやすい川にしよう!!



砂川を子供の遊びやすい川にしよう!!



最後に、子どもたちの作ったパンフレットを紹介させて頂きます。新聞記事の中に、ストレーナーの記述を見つけ、自分たちの地域でもと考え作ったものです。これをきっかけに河川浄化の一步を踏み出していただければ幸いです。



家庭排水による砂川とその源流である奥山田池は、富栄養化が進み、河川そのものの持つ浄化能力を超えています。私たちの家庭での一步から、始めることのできることはあるはず。将来、下水管の埋設などの計画が、市によって上地学区および奥山田池に流れ込む緑丘学区にあるようです。そういった意味で砂川の将来は明るく見えるでしょう。

# 砂川にすむ生物〜第一次調査レポート

青木 純

## 一、第一次調査

六月二十一日(木)、クラブ活動の時間に、釣りクラブの子供たち二十七人と顧問の名倉、奥村先生、飼育係とその顧問の長坂先生、加藤事務主査さんの協力を得て、砂川最上流の水生動物の調査を行ないました。

今回は第一次ということで、顕微鏡レベルの調査については後日に委ねることにして、おおよその砂川の生物相を知り、少しでも川の浄化に役立ててもらおうことを目的としました。

この調査のために、学校から四ツ手網と三日月網を用意してもらい準備を整えました。また、加藤事務主査さんが運んで下さった消防用排水ポンプで幅五メートル、長さ十メートルの水をほとんど排水して調査することができました。

### 一、水の汚れと指標生物

水質をきちんと調べるにはいろいろな道具や実験が必要で、簡単には出来ません。しかし、川にすむ生物を観察することで、その川の水質がきれいとか、汚れているとかのおよその状態をつかむことは出来ます。

このような環境の、ある状態を教えてください生物のことを『指標生物』といいます。指標生物の意味するところは、見た目に濁っているというようなものではなく、その川の酸素

水質階級と指標生物の棲息範囲

水質階級	指標生物	棲息範囲	備考
1	コイ	全川	
2	マブナ	全川	
3	ヘラブナ	全川	
4	タモロコ	全川	
5	ドジョウ	全川	
6	ブラックバス	全川	

水質階級と指標生物の棲息範囲

供給量が多いか少ないかということなのです。

今回の調査も指標生物を意識してのものです。クラブ活動の時間という制約もあり完全なものにはならなかったことをお断わりしておきます。

### 二、砂川に棲む生物

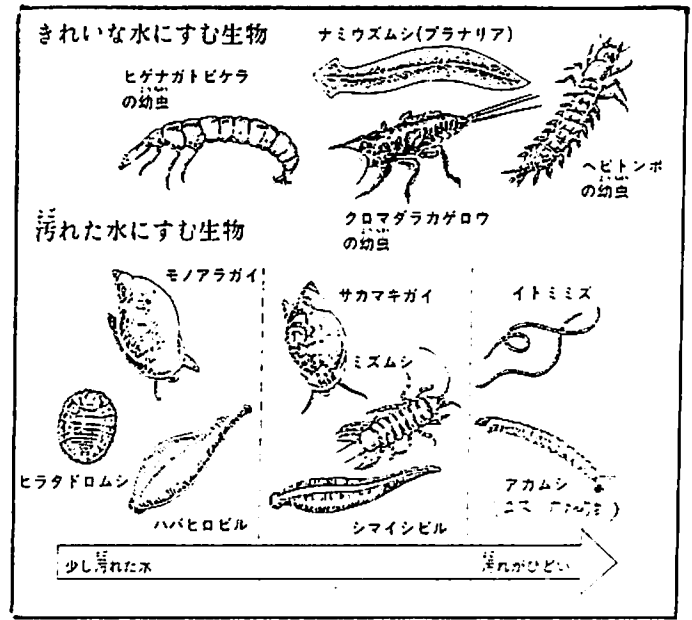
#### ① 魚類

階級	魚名	観察数
1	コイ	(++)
2	マブナ	(++)
3	ヘラブナ	(+)
4	タモロコ	(-)
5	ドジョウ	(-)
6	ブラックバス	(-) 稚魚一匹を確認

(++) 多い (+) 普通 (-) 少ない

奥山田池から五十メートルほど下がった場所での調査であったためか、三十センチメートル以上もある大きなヘラブナを数匹捕獲することができ、今は上地小の観察池「なかよし池」の住人となっています。

ブラックバスの稚魚を確認することができたのは驚きです。奥山田池は、ヘラブナやコイ釣りの人達に混ざってルアーをす



る人の姿を見かけることがあります。いつ頃かよく分かりませんが、外来魚のブラックバスがすむようになったのです。大雨が降った後、時々池の水が増え、砂川に流れ込む場合があります。ブラックバスの稚魚もあふれた水と一緒に砂川に流れていき、すむようになったのでしょ。

ところで、実は一年前の六月にも砂川の同じ場所を排水したことがあります。その時に、私はこの目で確認していないのですが、「タナゴ(タイリクバラタナゴ?)」がいたそうです。今回もいるのではないかと期待しながら、釣りクラブの子供たちが捕獲する魚を注意深く調べていったのですが、その姿を見つけないことが出来ませんでした。第二次調査に望みをつなぎたいと思っています。

② 水生昆虫

1	アメンボ(十)
2	ユスリカ(十) ※アカムシ
3	モノサシトンボ(ヤゴ) (十)
4	ギンヤンマ(一)
5	不明(ヤゴ)(一)

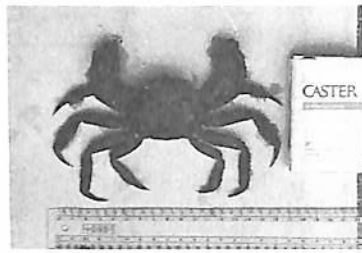
ここで注目したいのは、ユスリカの幼虫を多数確認したことです。前に書いた水質階級と指標生物の棲息範囲の関係からいえば、ユスリカがすむということは、砂川の水質は最悪で、「大変汚い水」という残念な結果が導き出されます。

奥山田池に流れ込む多量の生活排水。その水が砂川に流れ出してくるのですから、見た目にも明らかに汚れているように見

える砂川が、生物的に裏付けられたわけです。

③ 甲カク類

1	アメリカザリガニ(十)
2	モクズガニ(十)
3	チョウウ(十)



モクズガニ

ザリガニも指標生物の一つです。アメリカザリガニは汚れの少ないところにすんでいます。残念なことですが「大変汚い水」を示しています。モクズガニは、イワガニ科のカニで川の上流から河口まですんでいます。甲幅約六センチメートル、青黒色で、はさみ脚にやわらかい毛が密生しているのが特徴です。肺ジストマの中間宿主ですので、食用となるカニですが、生食すると危険です。

砂川で捕獲したコイやフナをバケツに入れて、学校まで持ってきたのですが、そのバケツの中に見慣れないものが泳いでいました。

「これは何だ、何だ。」とちょっとした騒ぎになりましたが、私も分かりません。最近、田でよく発生して新聞のニュースになっている「カブトエビ」の幼虫ではないか。」とか、「UFOだ。」とか言っていました。



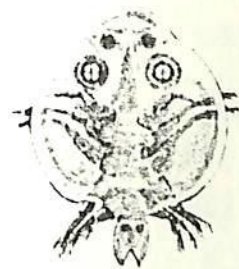
砂川で捕獲採集をするクラブ員

数日後、偶然開いていた百科事典（標準学習カラー百科8・生物の世界）

に、よく似た生物の絵がのっていました。『チョウ』という名の生物だったのです。「チョウ」といえば、羽のある蝶しか思い浮かびませんが、これは甲カク類の一種で、淡水魚の皮膚に寄生して血を吸うのです。

④ その他

3	イトミミズ（++）
2	モノアラガイ（++）
1	ウシガエル（オタマジャクシ）（++）



チョウ 淡水魚の皮ふに寄生して、血をすう。体長 4 mm

モノアラガイ、イトミミズとも指標生物で、モノアラガイは、「少し汚れた水」、イトミミズは「大変汚い水」を示す生物です。残念ながらここでも砂川が大変汚れていることを証明する結果となりました。

#### 四、砂川は生きています

以上のように、指標生物との関連で砂川の生物を見てきたわけですが、今までのところ十七種の生物を確認することができました。

砂川はコイやフナやタモロコもすんでいるが、一方ユスリカやイトミミズもすむという状態です。ある程度初めから予測できた状態でしたが、改めて砂川の汚れを確認したということになりました。

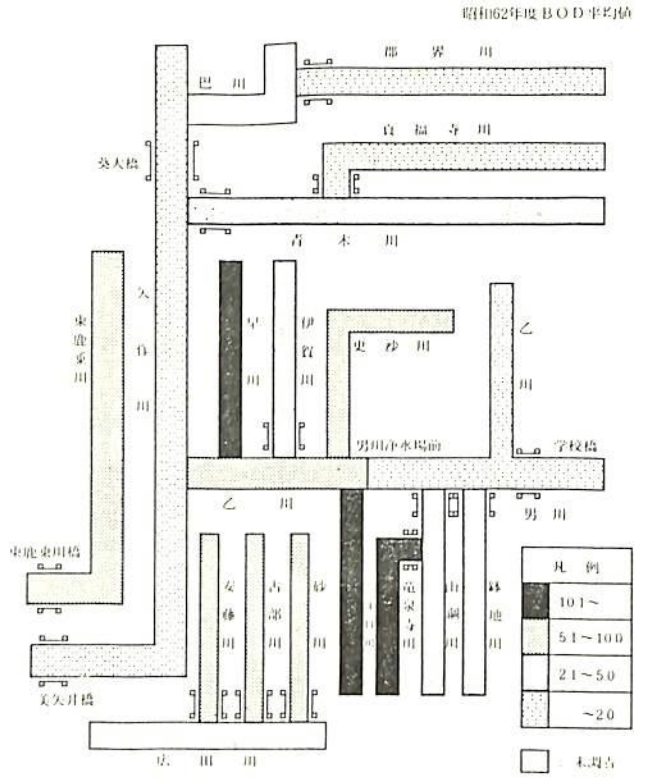
汚れてもなおその環境に適応して生きている生物がいる限り、砂川は決して「死の川」ではありません。一九九〇年はエコ

ロジー元年、オゾン層を破壊するフロンの規制も決まり、地球的規模で環境問題に取り組まなければならない時代なのです。私たちも足元を見つめて、出来ることからしていかねばならない時代だと思います。決して次の世代に先送りしてはならないと思います。

### 岡崎市主要河川における水質階級マップ

河川の水質調査の中で代表的な指標であるBODについて、河川の流末における水質状況を4階級にわけて、17河川について水質マップとして示した。河川における水質の変化は、上流から下流に向かって急変することはなく、徐々に変化するものであり、ここで示した階級の境界線は水質がその位置で急に変わるというような厳密な意味はもっていない。

昭和62年度BOD平均値



※BOD・・・生物学的酸素要求量（数が小さいほどきれい）  
出典・・・昭和62年度岡崎市公害の状況に関する報告書

表1 岡崎市産魚類 (岡崎市の水系に分布する魚類)

種名	河川名																			
	安藤川	広田川	砂川	竜泉寺川	山網川	鉢地川	青木川	前川	乙川	吉部川	伊賀川	青木川	大井野川	貞福寺川	設界川	矢作川	鹿乗川	巴川	古部川	
1 スナヤツメ																				
2 ウナギ																				
3 アマゴ																				
4 アユ																				
5 ウグイ																				
6 アブラハヤ																				
7 カワムツ																				
8 オイカワ																				
9 ハス																				
10 カワバタモロコ																				
11 ソウギョ																				
12 カマツカ																				
13 ゼゼラ																				
14 ヒガイ																				
15 タモロコ																				
16 イトモロコ																				
17 デメモロコ																				
18 スゴモロコ																				
19 モツゴ																				
20 ウシモツゴ																				
21 ニゴイ																				
22 コイ																				
23 フナ																				
24 タイリクバラタナゴ																				
25 ヤリタナゴ																				
26 タビラ																				
27 マドジョウ																				
28 シマドジョウ																				
29 ホトケドジョウ																				
30 ギギ																				
31 アカザ																				
32 ナマズ																				
33 メダカ																				
34 カムルチー																				
35 スズキ																				
36 ブラックバス																				
37 ブルーギル																				
38 ボラ																				
39 マハゼ																				
40 ヨシノボリ																				
41 チチブ																				
42 ウキゴリ																				
43 ドシコ																				
44 カワアナゴ																				

・多い井、ふつう+, 少ない-。 ・。は在湖による確認。 ・乙川は男川を含む。  
 ・ウシモツゴ、ヤリタナゴ、カワバタモロコ、ブラックバスは溜池に生息する。  
 ・ハスは東公園足延池にも産する。 ・上記河川のほかに溜池に産するものも多い。

出典・・・岡崎市史

# 土地八景

## 絵はがき

このたび、岡崎市土地学区家庭教育推進協議会(柴山 勝会長)では「土地八景絵はがき」を発行しました。同学区は新興住宅地で、八年前に生まれましたが、住民の半数以上が市外から移住してきた人です。そこで美しいふるさとの姿を知ってもらい、ふるさとを愛する心をもってもらおうように願い、八景を選びました。

八景は、①奥山田池②国道248号線③砂川④円光山寂靜寺⑤百丈山三善寺⑥上地濕原⑦県道岡崎衣浦線⑧大谷公園(写真)長坂信一、絵(加納隆久)です。

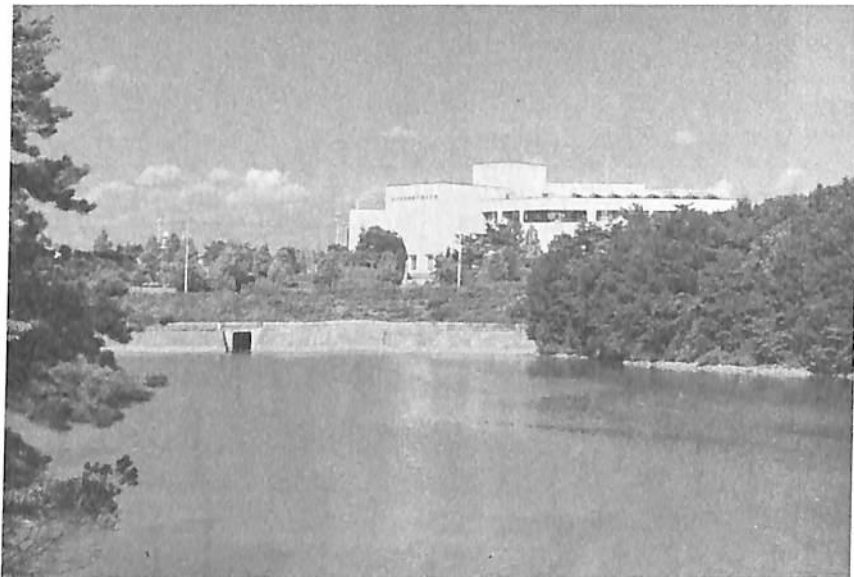
### ①奥山田池

かつては、灌がい用の溜池として、大事な働きをしてきました。だが、田畑も減少し、その使命は終わったようです。

池の南側は、ナラ、ブナ、クヌギなどの典型的な雑木林です。北側はアカマツの林。

水面は冬ともなれば、野鳥の天国でもあります。カイツブリ、カワウ、カルガモがのんびりと遊んでいます。時々、美しいカワセミが姿を見せてくれます。また釣り人にとっても格好の池でもあります。コイ、ハエ、タナゴ、モロコ、ヘラブナ、ウナギなどがいます。

勤労福祉会館のナトリウム灯が、水面に映える夜景の美しさは格別です。



奥山田池



## ② 国道248号線

蒲郡から岐阜まで走る国道248号線は、「ニイヨンバー」と称され、生活道路であるとともに、重要な産業道路でもあります。

学区を南北に縦断するこの道路は、「モスバーガー」付近で最高点となります。なげなく通過してしまいましたが、車で南に向かって行くと、その坂から新興住宅地としての上地学区を違った角度から眺めることができます。

計画的に街路樹（スズカケ、ケヤキ）が整理され、中央分離帯にはカンツバキが、歩道と車道との境界にはツツジが、目を楽しませてくれます。



国道248号線

## ③ 砂川

砂川は、水源を奥山田池に発し、広田川、矢作古川に合流して、やがて三河湾へ注ぎます。

区画整理事業が始まる前は、護岸工事が施されていないので春ともなれば、ツクシが顔を出し、タンポポの花が咲き乱れていました。川の水も澄んでいて子供たちにとっては格好の「ボンツク」場所でもありました。昭和四十八年ごろから改修がはじめられ、総延長八百メートルがコンクリートで固められたということです。

今では生活排水も流れ込んでいますが、それでも、フナ、コイ、モロコ、タナゴ、ドジョウ、モクスガニ、ミズカマキリなどが住んでいます。



砂川

## ④ 円光山寂静寺

千四百年の昔、当地を巡行した聖徳太子が、阿弥陀如来像を安置されたのが契機となって建立されたといえます。

県道衣浦線沿いから見ると、ごく普通の白壁と瓦屋根のお寺としか映りませんが、南側はうってかわったたたずまいです。俗世間から隔絶されたような京都の古寺を偲ばせるようです。なだらかな石段と山門、それを通してみえる本堂。

境内にいきこの家があり、その横に全国でも珍しい児童詩の「敬老の詩碑」が、伊藤金次さんによって建てられ（九月十五日除幕）敬老精神発揚の一助として、貴重な文化財となりました。



円光山寂静寺



## ⑤ 百丈山三善寺

今から約三百年前の元禄十二年、この地方の奉行職だった早川武左衛門が寄進して建造されたものです。上地町下屋敷に住んでみえる早川博さんは、その十二代目のおかたです。

旧248号線から、山門をめぐらして石段を登ると、西側に樹齢百年に近いかと思われるウバメガシ、アカガシ、マテバシイの原木が繁っています。

こここの「長命地蔵」の縁起をご紹介します。

上地はむかし、山が多く、雷がよく落ちて困っていました。ところが三善等にお地藏さんがやってきてから、雷や火事による被害がなくなったといえます。



百丈山三善寺

## ⑥ 上地湿原

この湿原は幸田町と境を接する学区最南端に位置し、二つの池から成っています。

住宅開発が目の前まで迫っている中で、この一帯だけが、本来の自然の姿を保っています。

ヨシやガマが水面を覆い尽くすように茂っていて、ここをえさ場しているコサギやチュウサギなどの野鳥の天国です。

また、長く住み着いて離れないフナやコイ、ドジョウ、ナマズなどの魚や水生昆虫などが見られます。

近くに中部電力上地変電所がありますが、近代施設と荒々しい自然が、おもしろい対照を示しています。



上地湿原

## ⑦ 県道岡崎衣浦線

上地学区を東西に横切り、近い将来には「竜東メインロード」と接続し、岡崎市域の環状線の役割も担うようになります。

県道沿い西部には学区最大のスーパーマーケットもあり、その付近には、各種の店舗も次々と誕生しています。

さらに、東部にも大型店舗の進出も決まり、岡崎市南部の中心ともなってきました。

福岡町から医療刑務所あたりへかけて、昔の「吉良道(きらみち)」が通っていて、塩の道として、生活必需品を運ぶ重要な役目を果たしていました。

この岡崎衣浦線は新しい「吉良道」といえます。



県道岡崎衣浦線



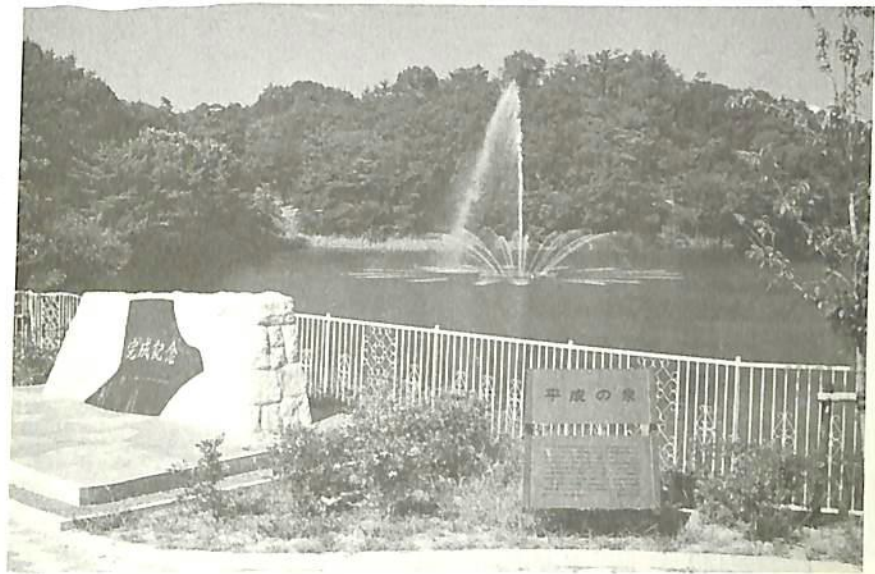
## ⑧ 大谷公園

上地学区民のオアシスともい  
うべき大谷公園。

上下の池の間を、全長二二〇  
メートルの大谷橋がかかっています。  
子供会などで、よく活用  
されるテント場、炊事場なども  
あり、夏になると子供会の炊飯  
活動の煙が上ります。

山の中には、平安時代の焼き  
物の窯跡が残っております。ま  
た池のすぐ上に、東屋風の休憩  
所もあります。

山を一周する遊歩道の、総階  
段数は四八〇余段、総延長は一  
キロメートルを超えています。  
また、区画整理事業の完成を記  
念してできた「平成の泉」が美  
しく吹きあげ、道行く人の目を  
楽しませてくれます。



大谷公園

## 秋の写生会は 『上地八景』

五五・十八年

運動会が順延したため、秋の  
写生会は一日延びて、十月十六  
日（火）に実施しました。

一年生から四年生までは、各  
教室で「お話の絵」・「人物を  
入れた絵」などに取り組みまし  
た。

五・六年生八クラスは、『上  
地八景絵はがき』の発行にちな  
んで、八か所に分散して描きま  
した。

完成した作品は、十一月十一  
日（日）に開かれた「上地小文  
化展」で展示されました。

## 国道二四八号線を探る

奥村 武文

本学区の真ん中を、国道二四八号線が走っています。蒲郡から岐阜まで走る二四八号線は、「にいよんばあ」と愛称され、生活道路とともに重要な産業道路でもあります。

学区を南北に縦断するこの道路は、「モスバーガー」付近で最高点になります。そして、スズカケ、ケヤキ、カンツバキ、ツツジなどで街路樹が計画的に整理され、人々の目を楽しませてくれています。

道路の近くの建物の様子も年とともに様変わりをしています。人々の生活とは切り離せないこの二四八号線は、上地八景にも選ばれました。そこで、今回は、学区の二四八号線を調査し、その報告をします。

### (一) 井田は低湿湿地だった

二四八号線ができる前、この辺りは低湿地で、底無し沼のような田んぼであったそうです。抜け底で、足が埋まってしまいうため、丸太を田んぼの中に入れ、感を頼りに地すんだ丸太のうえを歩いて行きました。

田んぼに必要な水を引いてくると、二時間ぐらいかかるため、配水委員を決めて順番で当番にあたりました。この作業もたいへんなことでした。

当時は道らしい道もなく、幅一メートル八十センチくらいの一間道といていた狭い能動がぐねぐねと曲がっていただけでした。そのような田での仕事は、生産効率も悪く、とても良い田とはいえません。

これら多くの田が、区画整理によって埋め立てられていきました。埋め立てるときは、上地の土でなく、どこか他の土地か

ら土を運んできて埋め立てたそうです。

現在、二四八号線西側に残っている水田が当時の面影を残しています。この水田は、区画整理のとき、いろいろなところに残せなかったため、集合農地として残したものです。どうしても、他を残したいという農家の願いがなかったわけです。この時、田を残す、残さないで農家では何回も話し合いをしたそうです。

### (二) 用地買収、工事開始

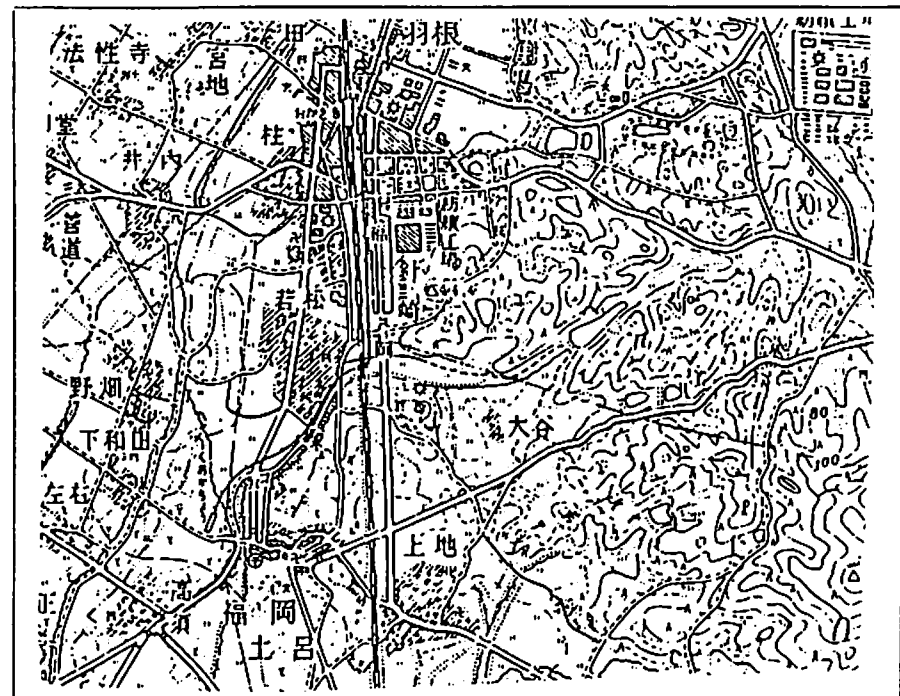
昭和四十年代、車の需要は急速に伸び、道路にも多くの車が氾濫するようになってきました。旧二四八号線では車社会に対応できなくなるため、新しいバイパスを建設しようという動きが、愛知県にありました。県は未開発地の区画整理によってバイパスの用地を確保したいと考え、二四八号線も区画整理事業区域内に入れて欲しいという要望をもっていました。

これらの状況の中、昭和四十五年一月十日、区画整理組合を作るための第一回発起人会が開かれました。幸田町坂崎の愛知県浄水場へのバイパスを区画道路の下へ通したいということも、組合を作る要因になりました。

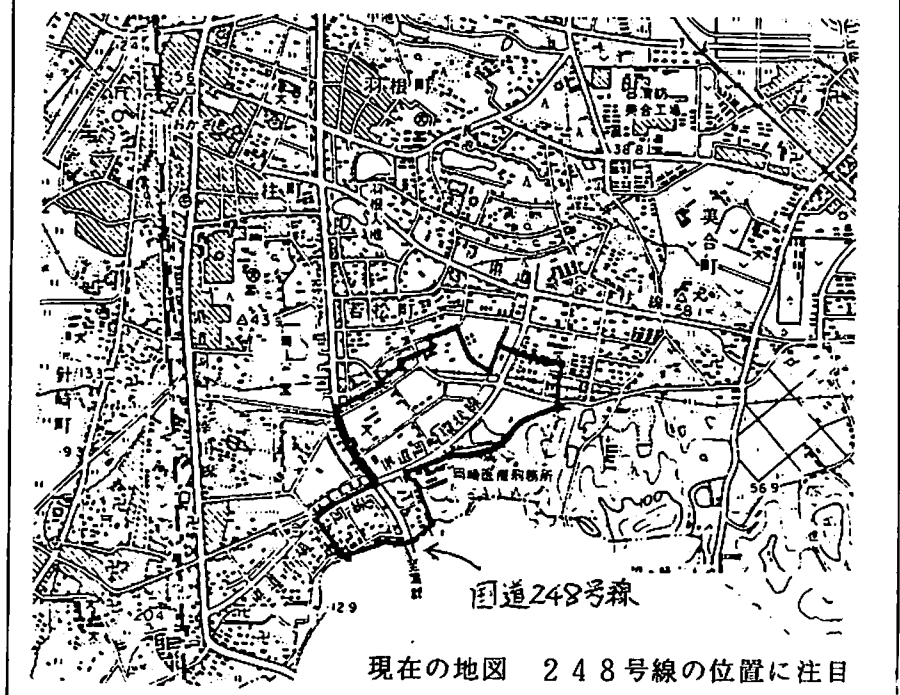
その後、地主との交渉に入ってきました。まず、不動産鑑定士が土地を鑑定し、用地費を計算しました。換地の指定が正式に決まる間では、道路の下の所有権はその地主にあるので、岡崎市は、愛知県に代わって、正式に換地ができるまで借地料を払っていました。

昭和四十六年二月十日、二四八号線は、一車線の共用を開始しました。始めは、舗装もしてなく、砂煙が上がり、道路の近くの家や商店は大変だったそうです。その後、二車線になって、舗装されていきました。

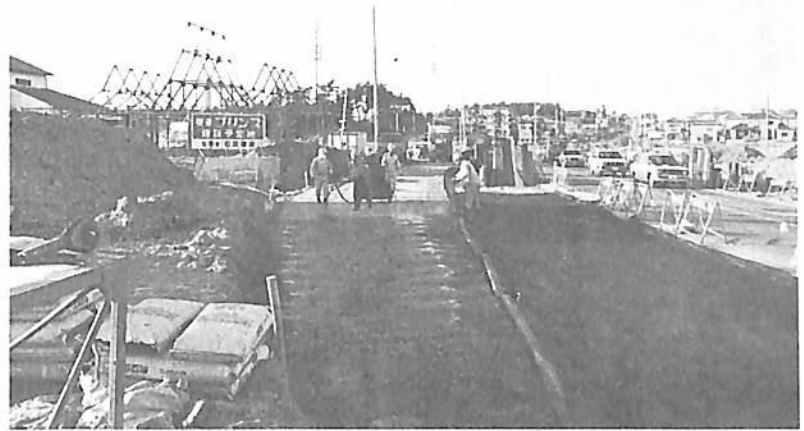
昭和五十三年三月二十五日、第一回仮換地指定が行なわれ、その後、八回まで続けました。その作業は、減歩率を元にして進められていきました。仮換地指定にあたっては、換地規定を作り、総代が議決をして執行していきました。



昭和32年ころの地図



現在の地図 248号線の位置に注目



4車線への拡幅工事（喫茶プリンス付近）昭和54年



地下道と4車線化の完成（同上）昭和55年

(三) 区画整理事業の資料より  
 今まで述べてきたように、この国道

二四八号線の工事と区画整理事業とは  
 密接な関係があります。

岡崎上地第二特定土地地区画整理事業  
 の概要には、次のように書いてありま  
 す。

本事業は、国道二四八号バイ  
 パス都市計画道路絹裏岡崎線の  
 建設が急務となり、また無秩序  
 な宅地造成が懸念されるため、  
 昭和五十一年十二月十五日、事  
 業認可を受け着手した。

下の資料は、仮換地指定、保留地処  
 分などの日程表です。

種 目	概 要		
仮換地指定	第1回	昭和53年	3月25日
	第2回	昭和54年	1月13日
	第3回	昭和55年	12月3日
	第4回	昭和56年	9月28日
	第5回	昭和57年	4月1日
	第6回	昭和57年	8月18日
	第7回	昭和58年	3月18日
	第8回	昭和58年	8月8日
確定測量	自至	昭和53年	8月24日
		昭和59年	3月21日
保留地処分	開始 終了	昭和53年	3月20日
		昭和63年	2月26日
換地計画	縦 公 告 期 間 自 至 総代会議決 認可	平成元年	1月26日
		平成元年	2月1日
		平成元年	2月14日
		平成元年	3月2日
		平成元年	4月5日
換地処分の公告		平成元年	5月22日
町の区域の変更	市議会議決 届出	昭和63年	6月22日
		平成元年	3月8日
土地地区画整理 登記完了		平成元年	10月2日



#### (四) 地下道の工事

地下道は、上地小学校の児童が安全に登下校するために重要な役割をはたしています。二四八号線には一つの地下道があります。とりかも幅

二、五メートル、延長七十メートルです。

その施行は、第一区画整理組合と第二区画整理組合が半断面ずつ行なっていました。それは、二四八号線のセンターラインが第一と第二との境になっていることが大きな理由でした。

岡崎医療刑務所前にある地下道は、国庫補助を受けて、第二組合の事業として行ないました。これらの地下道の工事は、一斉に同じ年に行なわれました。

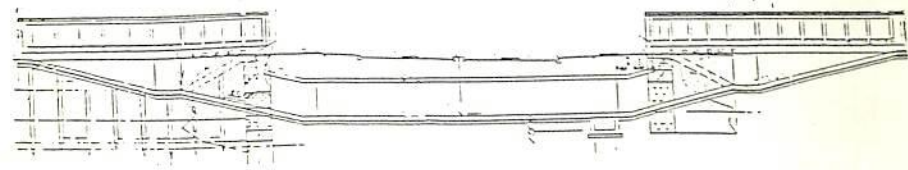
#### (五) 学校西の右折車線

学校の西、サークルKの交差点は、旧二四八号線に向かう車も多く、通勤、帰宅時間には、特に渋滞しました。その原因は、南に向かう車の右折車線にあったといってもよいでしょう。羽根方面から来た車がこの交差点で右折するときに、何台も続くと、右折車線が渋滞し、左側一車線だけの状態になってしまいました。一車線になれば、ますます通行は困難となり、いろいろと問題も増えてきました。そこで、新しく右折車

地下道一般図（真上から見た図）



地下道一般図（真横から見た図）



線を作る工事を始めたわけです。

九十年の夏から秋にかけて工事が行なわれていたので、記憶にある方も多いと思います。右折車線の工事に伴って、その増えた道幅を確保するために道路脇の樹木を移転することになりました。

現在、右折車線は完成し、以前よりもかなりスムーズに通行することができます。しかし、ここは児童の通学路にもなっており、交通事故の起こりやすい交差点でもあるので、通勤、登下校のときなど十分な注意が必要でしょう。

#### (六) 南公園入り口の改良

現在、二四八号線の南公園入り口で工事が行なわれています。この公園へ入っていく所には信号がありません。幸田方面から入っていくにはよいのですが、羽根方面から入っていくには、右折することになり、信号もなく時間もかかり危険です。右折して、南公園に行ったことのある方ならそのことがよく分かると思います。

そこで、現在の入り口より少し北側に、新しく入り口を作ることにしたわけです。信号が出来ることにより、南公園からそのまま直進して東へ行けば、そのまま奥山田池の前の道に出ることができるようになり、たいへん便利になると思います。今後は、中央分離帯を壊す工事が行なわれることになるでしょう。

#### (七) 衣浦線との交差点

二四八号線と衣浦線との交差点は、学区の中でも重要ポイントです。将来、この衣浦線が二四八号線の下を通ることになるそうです。大工事になると思われませんが、いつ出来るかはまだはっきりしません。

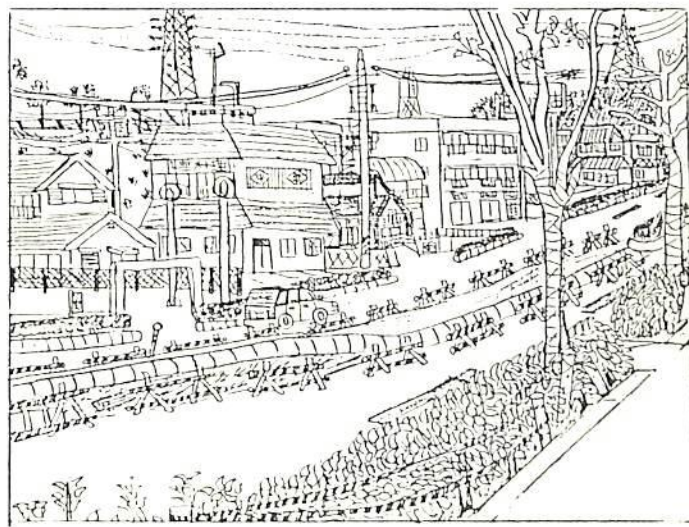
僕は、「ミルミル」の前の地下道を使って登校していま  
す。以前、「ミルミル」の前の木に車が突っ込んでいる事  
故を見ました。道路がよくてスピードもでるので危険だ  
なあと思いました。信号のある所を渡る時は、とくに注  
意して歩いていくようにしています。

僕が小さいころより、今のほうが通る車の数が多くな  
ってきました。朝の通勤時間はとくに多いです。ソニーのよ  
うな大きな工場ができて、働く人も増えたからだと思います。  
ソニーのバスをよく見かけます。ほかにも、三菱自動  
車やデンソー関係のトラックや車も多く見ます。これから  
も、ますます工場の関係の車が増えてくるでしょう。

幸田の方の道にもたくさんのお店が来てくるのでうれ  
しいです。

あと十年くらいすると、僕も大人になっています。その  
時、国道二四八号線がどうなっているか楽しみです。

六年 大北 哲生



中華料理五十番の前より (絵 大北 哲生)

## 理想のスポーツ少年団活動を求めて・・・(1)

渡辺 修

一、こうして上地少年団は作られた

今年、上地小学校は創設八年目を迎えました。

上地の少年団活動は、野田守司登前校長の学校と地域が一体化した「上地学区づくり」に端を発し、当時の夏目恒男体育主任(現付属中学校勤務)の構想のもとに発展してきたものであります。

この構想は次のようであったといえます。

夏目先生 談

[1] 新設校であり、学校づくりがすなわち学区づくりでもあったため、新しい学区にとって、学校と地域との結びつきをより強く考えていく必要があった。そこで、学校と地域の一体化を図り、児童を前面に置いた組織だったものが必要であり、少年団という形に結びついていったと思う。

[2] 生氣あふれる学校、活気ある学校にすることが、開設当時よりモットーとされた。そのためには、スポーツを通じて児童の活力をうながすことがより早く確かな方法だと考えた。しかも、新設の学校であるから、早く外に「上地」を知ってもらうことをして、児童に自信と誇り、新しい学校に対しての愛校心を育てる必要があった。

[3] 福岡小や岡崎小とのつながりにおいて、当然必要であった。開校前の学校でも少年団組織があり、活動をしてきた児童が上地小にもたくさんおり、新しい学校でも作ってもらいたいという希望がたくさんあった。



[4] これは私自身の考えであるが、今の日本、とりわけ岡崎においては、こうした社会スポーツ・地域スポーツを普及発展させていく必要を感じていたので。

このような構想を基にして、各少年団が作られていきました。その過程および条件は次のようでありました。

- ① 学校長や学区社教委委員長の理解
  - ② 学区体育指導員に協力依頼
  - ③ 指導者（各スポーツのコーチができる人）依頼 承諾
  - ④ 団の責任者（最初は、団員になるであろう児童の保護者の中から）団長依頼 承諾
  - ⑤ 発足（任意団体）
  - ⑥ 組織を運営していくのに必要な会計・書記・副団長選出
- ※ 学校開放の許可（学校↓市）
  - ※ 任意団体としての届出（市社教、市体育協会）
  - ※ スポーツ障害保険への加入

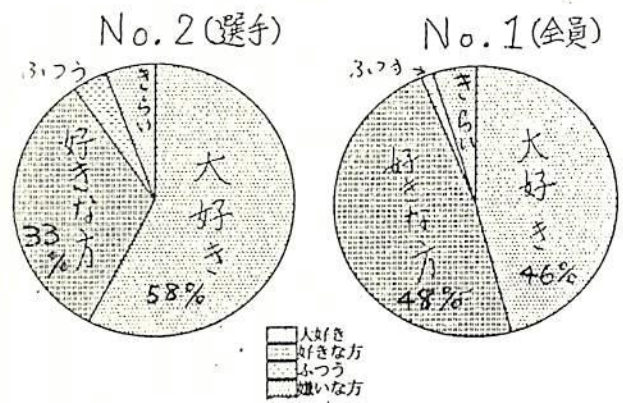
こうして昭和五八年（一九八三年）、開校の年にサッカー少年団・ソフト少年団が作られました。昭和五九年（一九八四年）バレーボール女子少年団。昭和六〇年（一九八五年）バスケットボール女子少年団とあいついで作られました。そして、平成元年（一九八九年）バレーボール男子少年団が作られました。

## 二、上地スポーツ少年団の現状

現在、少年団活動に参加している児童数は、二百名ほどです。ここまで来るのに、いろいろな方々の並々ならぬ苦勞がありました。その積み上げによって今日があるのだといえるでしょう。それでは、少年団活動は、子供たちにどのように受け入れられているでしょうか。ここで、現在の少年団活動の実態をいろいろな角度から掘り下げてみたいと思います。

### ① 団員の少年団に対する意識

あなたは、少年団が好きですか？



少年団活動についてのアンケート（児童）  
※ ○の中の数字は、選手登録された者（平成2年11月現在）

項目 少年団名	学年	大好き	好きな方	な ら い	い 大 き ら	ふ つ う	好 ま な い 方
ソフトボール	4	6	13	0	0	0	42人
	5	8	3	1	0	0	
	6	5	6	1	0	0	
バスケット	4	0	5	0	0	0	32人
	5	5	3	0	0	0	
	6	6	13	0	0	0	
バレー男子	4	3	3	0	0	0	24人
	5	9	3	0	0	0	
	6	1	5	0	0	0	
バレー女子	4	1	2	0	0	0	20人
	5	0	4	0	0	2	
	6	2	8	1	0	0	
サッカー	4	4	3	0	0	0	41人
	5	13	3	1	0	0	
	6	10	2	5	0	0	
計		73	76	8	0	2	159

どんなところが好きですか？ (つづき)

(バスケットボールの続き)

- 6年
- ・合宿やスキー・ボーリングなどもある
  - ・チームの子と仲良くなれる ・技術的に進歩する
  - ・いろいろなところへ行き、友情を深めあえる
  - ・みんなで『やろう！』と言ってやれる

サッカー

- 4年
- ・コーチがおもしろい ・ミニサッカーとかができて楽しい
  - ・6年生と一緒に練習しているので、いいところがまねできる
- 5年
- ・個人で教えてくれる時がある ・大会がいっぱいある
  - ・3時間たっぷりできるから ・友達ともっと交流ができる
  - ・試合をして、負けた悔しさ勝った喜びが味わえる
  - ・部活とちがった練習をするから
- 6年
- ・試合に行ける ・練習熱心 ・いろいろな行事がある
  - ・友達がたくさんいる ・部活より、たくさん試合がある
  - ・コーチがおもしろい

バレー女子

- 4年
- ・ユニフォームが着れる ・6年生がいつも優しい
  - ・おじさんやおばさんが来て、練習を教えてくれる
  - ・いつものバレーの練習より、時間が長くできる
- 5年
- ・いろいろな友達とスポーツができる ・ボールにさわられる
  - ・試合とかができる ・団体に集まったりして、遊べる
- 6年
- ・みんなと一緒に練習ができる ・合宿をやる
  - ・日曜日でも余分にやっとうまくなれる
  - ・いろいろなチームと交流ができる ・遠征に行ける

バレー男子

- 4年
- ・体育館だからすずしい ・コートの中に入ること
  - ・おじさんが来てくれる
- 5年
- ・強くなりたいのでやっていると楽しくなる
  - ・日曜にみんなに会える ・遠征に行ける
  - ・自分がどどんうまくなれるところ
  - ・時々、楽しい企画をしてくれる
- 6年
- ・先生がいっしょうけんめい教えてくれる
  - ・6人の人やほかの人とやったりすること
  - ・心の中の勉強になる ・遠征に行くこと
  - ・みんなで泊まったりすること ・友達作りになる

どんなところが好きですか？

(その一例)

ソフトボール

- 4年
- ・紅白戦 ・全部 ・うまくなれる
  - ・やる時間が長い ・おもしろい
- 5年
- ・みんなが励ましてくれる
  - ・いろんな人と友達になれる
  - ・コーチがうまく教えてくれる
  - ・全くひいきがない
  - ・練習試合が多い
  - ・クリスマス会などの行事がある
- 6年
- ・入ったときから優しくしてくれる
  - ・試合が多い ・練習がとても楽しい
  - ・試合に行って、ほかの学校の人と話ができる
  - ・ナイター練習、試合がある
  - ・よく試合に出してくれる
  - ・うまい人とうまくない人の区別があまりない
  - ・イベントがたくさんある

バスケットボール

- 4年
- ・6年生が優しくしてくれる
  - ・合宿がある
  - ・試合をいっぱいやらせてくれる
  - ・6年生や5年生が優しく教えてくれる
  - ・みんなより、たくさん練習ができる
  - ・コーチが優しく教えてくれるところ
  - ・試合ができる
  - ・6年生が優しく遊んでくれる
  - ・部活とはちがう練習ができる
- 5年
- ・いろいろな行事がある (特に、スキー・ボーリング)
  - ・みんなが大好きだから
  - ・ちがう学年の子とも仲良くなれる
  - ・部活のときより、一人ひとりに先生が指導してくれる
- 6年
- ・試合がいっぱいできる
  - ・ひまな日曜日には楽しい

前ページの資料は、全団員にむけて行なったアンケートを集約したものです。質問項目は、『あなたは少年団が好きですか？』という四つの選択肢でした。(『ふつう』とわざわざ解答した団員もいました。)

前ページの下の表を見ていただきたい。回収数百五十九のうち、大多数の百四十九人の団員が『好き』と答えています。団活動は充実しているであろうと推測されます。また、円グラフを比べていただきたい。No.1は全員の集計。No.2は、選手登録された者の集計を表わしています。No.2では、『大好き』の割合がNo.1より増えています。これは、試合に出られるか否かが影響しているのか。しかし、試合に出なくとも、こんなにもたくさんの方々が、少年団活動に対して愛着を持っていてくれることに喜びを感じ、また一方で安心しました。



『きれいな方』と答えた団員に着目してみます。その理由は、下記のようにでした。「きびしい」については、こんな話があります。ある少年団で、コーチが、今年は少し厳しく指導していこうと打ち合わせたことがあります。楽しく少年団活動を進めるのはいいが、あまり楽しさばかり強調していると子供たちはだらけてきます。スポーツを行なっている者に対して、だらけは禁物です。技術が進歩しないだけでなく、けがもしやすくなります。楽しさも必要ですが、厳しさも必要なのです。そのどちらを強く感じるかは、人それぞれでしょう。

「時間が長い」については、『好き』と答えた団員の理由の中にこれとは逆の「時間が長いから好き」とか「もう少し時間を長くやってほしい」という理由を見つけることができます。その子の置かれている精神的状況によって、活動時間への評価は変わるようです。



少年団活動を「きれいな方」と答えた児童の主な理由(8人)

・ きびしい	5	人
・ 時間が長い	2	人
・ 日曜日に遊ぶ	2	人
・ 練習がバタ	2	人
・ 休けいもほ	1	人
・ お金が	1	人
・ 朝から	1	人

## 理想のスポーツ少年団活動を求めて・・・(2)

### 現在の少年団の実態

#### ◎ 少年団の運営に関して

ア、各少年団の運営人員について

各少年団の運営人員は、平成二年現在、下の表のとおりです。まず、運営人員の差に目が行くと思います。最小の人数で運営しているソフト少年団と、最多の人数のバレーボール女子少年団とは十一名の差があります。バレーボール女子少年団は全国大会に連続出場していることもあって、運営人員は多い。ソフト少年団は、五名ですべての運営を行なっています。コーチに目をむけても、役員が重複してコーチとなっています。そんな中で、運営に当たっておられるソフトボール少年団の方々には、頭が下がる思いがします。

運営人員が増えれば、物事はやりやすくなります。それはよく分かっているのですが、なり手がなかったり、思い切って人数が増やせなかったりします。コーチを含めて運営人員を増やすことを、まず考えなければなりません。

イ、各少年団の運営に関する責任について

次のページの表は、教師と団の係がどのように運営の責任を分担しているかを

各少年団の運営人員 (平成2年現在) ( )の中は教師数

	団長	副団	会計	書記	監査	委員	コーチ	計
ソフトボール	1	1	1	0	1	0	1 +3	5
バスケットボール	1	1	1	0	1	3	2 (1)	9
サッカー	1	1	1	2	1	0	6 (1)	12
バレーボール男子	1	2	●	2	1	0	1 (1)	7
バレーボール女子	1	1	2	2	2	6	2 (1)	16

※ソフトのコーチの+3は、役員と重複の意味。

渡辺 修

表わしています。

この面でも各少年団それぞれです。ソフトボール少年団・サッカー少年団はほとんど団の係が運営しています。言うなれば、独り立ちをし始めている少年団と言えるでしょうか。

バレーボール男子少年団は、責任分担がはっきりしています。教師は練習・試合関係を、団の係は行事・選手送迎関係を担当しています。しかし、大変なのは、専任のコーチが教師一人しかないことです。

バスケットボール少年団・バレーボール女子少年団はほとんどを両方で補いあって運営しています。

団の運営に関する責任を明確に分割分担したほうがいいか、それとも両方が同じように受け持ったほうがいいか、その結論は、今は出しません。ただ、言えることはどちらにしても団が存在するかぎり、団の運営はだれかの手によってなされなければならないということです。

ウ、少年団の問題点について

次のページの「団長からみた問題点」を読んでみますと、

苦勞をされながら少年団の運営をな

されているかが推察できます。

少年団は毎年継続していますが、

その陰には、問題点を抱えながら、子供たちのために苦勞されている人たちのひたむきな行動が隠されているのです。

問題点を整理してみました。

- ① 少年団の学校からの分離
- ② 広域少年団への移行
- ③ 教師の少年団への参加
- ④ 指導者の開発
- ⑤ 役員を選出
- ⑥ 部活動との兼ね合い
- ⑦ 少年団の運営
- ⑧ 褒賞・補償

### 団長からみた少年団活動の問題点

**三浦団長**——ソフトボール  
・団員数に対し、コーチが少なく、満足に指導ができません。年間のスケジュールで父兄コーチをお願いしていますが、ごく一部の方の協力だけです。  
・他の市町村の少年部活動においては、子供会・部活動の延長が多く、レベルがまともです。本団では、それぞれが、別々に活動しているように思われます。  
・この8か月の活動の中で、公私ともに多忙なサラリーマンにとって、唯一の休日である日曜日を返上して指導に当たっていることを真剣に受け止めていただきたい。ただ、子供たちと接しているときは無心で指導できることが、唯一の救いです。

**木山団長**——サッカー  
・一般的には、少年団活動と部活動は別のものだと思います。しかし、当少年団は上地小のみの児童から構成されているという点で、部活動を指導されている先生の影響は大きいと思います。  
そこで、コーチと先生の指導方法の調整が必要になってくると思います。  
・団員の技術を向上させ、優勝できるチームにすること、強くなくてもいい、みんな仲良くわいわいやればよい、この相反する二つのことをうまくバランスを取っていくことができればと思います。

**小本木団長**——バレー男子  
・少年団活動と部活動を切り離して考えることは不自然に思われます。先生方の休日として、日曜日まで拘束する云々という考えで判断する内容ではないと思います。このような活動は、先生であれ地域住民であれ、ボランティア精神を通じて、子供たちの肉体的・精神的な成長や情緒の育成などの手助けをするという考えで、実施されなければいけないと思います。

**中本村団長**——バスケット  
・団のバリエーションを拡大しようと考えたとき、団費が足りません。  
・90年度は、ミニバスケットボール連盟に加盟しました。昨今の精鋭化する活動に大して、より優しく、より楽しく、みんなでということでの参加でした。  
6年生はいきいきはつつつ。5年生は楽しく応援。しかし、その陰で、5年生の練習不足が少し気になっています。  
・休日返上での団活動。私は1年間ですが、先生はたいへんだと思っています。自分が育て、思うように動く。良くも、悪くも結果が出るやりのあることかもしれません。しかし、その分、家族との触れ合いが不足するように思えます。

**後原団長**——バレー女子  
・問題は、部活動の延長が少年団活動になっているということです。部活動の先生に団の活動をお願いしているのが現状です。少年団としての指導者を充実させていかねばならないと思います。  
・少年団の目標を何におくか、子供たち・指導者・父兄で真剣に話し合って、今後の活動方針を決めたらよいと思います。

このような問題点を克服しながら、どの団もすばらしい活躍をしています。今年、市内の球技大会で優勝旗を四本も獲得できたのも、少年団の力によるところが大きいです。

各少年団の運営に関する責任 (平成2年現在)

少年団名		練習計画	練習指導	行事計画	行事指導	試合計画	試合指導	選手送迎	
ソフトボール	教師				○		○	○	だいたい団中心
	団係	○	○	○	○	○	○	○	
バスケットボール	教師	○	○	○	○	○	○	○	全て話合っている
	団係	○	○	○	○	○	○	○	
サッカー	教師					○	○	○	だいたい団中心
	団係	○	○	○	○	○	○	○	
バレー男子	教師	○	○			○	○		分担されている
	団係			○	○			○	
バレー女子	教師	○	○			○	○	○	行事は教師は不参加
	団係	○	○	○	○	○	○	○	



各少年団の年間活動予定表

月	ソフトボール	バスケケット	サッカー	バレー男子	バレー女子
4月	開講式 総会	開講式 総会	開講式 総会	開講式 総会	開講式 総会
5月	みどり杯	親子バスケット	全日本サッカー 県大会	交流試合	遠征、練習試合
6月	練習	春の大会応援	練習	ライオンカップ 西三河予選	ライオンカップ 西三河予選
7月	練習	合宿	練習	ライオンカップ 県大会	ライオンカップ 県大会
8月	合宿	ミニバス サマーフェスティバル	合宿 親子サッカー	東海フロッタク小学生バレーボール大会 フ全日本バレーボール小学生大会	東海フロッタク小学生バレーボール大会 フ全日本バレーボール小学生大会
9月	黒松杯	練習	フジバソケット 東海小学生大会	9人制西三河大会 練習試合	西三河総合新人戦 岡崎スポーツ少年団大会
10月	練習	練習	練習	練習	練習
11月	きらら杯 竜宮杯 三河ジュニア大会	ミニバス三河・県大会	体力測定・記録会	親子ソフトミニバレー親睦会	岡崎市スポーツ少年団体カテスト
12月	みかん狩り クリスマス会	ホーリング大会	練習	練習	東海フロッタクスポーツ少年団交流大会
1月	練習	練習	練習	練習11月～1月 夜練習 5:00-7:00	11月～1月 夜練習 5:00-7:00
2月	練習	少年団スキー	親子サッカー	練習	練習
3月	翌年大会 閉講式	閉講式	お別れ会 閉講式	交流会参加 閉講式	閉講式

百年前の上地開発を追って

— 大谷坂貯水池工事 (畔柳五郎工門物語) —

上地学区を東西に横切る衣浦線。医療刑務所の辺りから、藤川方面に抜ける吉良道に入ると、左手に大谷上池が見えてきます。

キャンプ場や平成の泉、そして展望台の建設等、着々と公園整備が進む大谷下池と比べ、久しぶりに足を運んだ上池には以前と変わらぬ静寂さがありました。

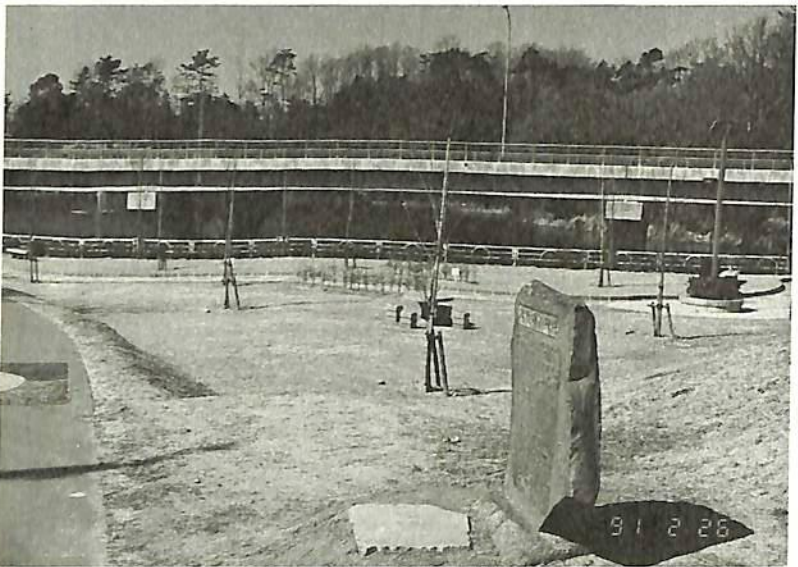
ただ、ここにも公園整備の波が及んできたのか、整地され芝生が敷き詰められた様子を目の前にし、数年前までの雑木に埋もれた姿とは程遠いものを感じました。

さて、この一角に、苔むした石碑があります。大きさにして縦三尺(約九〇センチ)、横一尺(約六〇センチ)余りのものです。碑の前面に、大きな文字で

「畔柳五郎工門翁頌徳碑」

と記されているのを読むことができます。

田中 鉄也



大谷公園下池のほりにある畔柳翁碑



今回の「ふるさとシリーズ」では、この畔柳五郎工門氏が手がけた大谷坂貯水池工事を取り上げることで、百年前の土地開発の様子や郷土を開いた先人の願いや苦勞を今に伝えられたらと思います。

## 一 大谷坂貯水池工事への夢

### 1、百年前の土地が原

明治二十年頃、土地の北部は非常にやせた土地で、田においては、雨水の恵みによってかろうじて収穫を得ていました。

畑についても、干ばつで、粟、きび、ひえ、棉、豆類等細々とした収穫しか得られない状態でした。ですから、当時の人々の暮らしは貧困そのものでした。

当時の資料によれば、旧上地村の総戸数が百四十七戸、そのうち、農家戸数が六十八戸、非農家とその他を合せて七十九戸でした。

更に、その数字を字ごとに集計したものが、下表のような状態でした。

こうした、上地村の立地状況から、上地北部の畑に水を引き

上地村の集計表（明治25年頃）

	総戸数	農家数	非農家
山ノ上東切	17	7	10
山ノ上西切	17	8	9
宝 六	13	7	6
下 ノ 切	27	13	14
荒井 東切	13	10	3
荒井 西切	13	5	8
向山ノ切	15	12	3
大谷ノ切	6	6	0
出 崎	26	0	26
合 計	147	68	79

田に変換しようとする計画が持ち上がりました。

いわゆる「大谷坂貯水池工事」で、その計画・竣工に当たったのが畔柳五郎工門氏でした。

### 2、畔柳五郎工門氏

先にふれた大谷公園下池にある『畔柳五郎工門翁頌徳碑』を読みながら、氏を紹介してみましよう。

畔柳五郎工門氏は、嘉永六年正月八日（約百四十年前）に、愛知県額田郡福岡町大字上地九十三番戸に生まれました。生来英知・至誠の人でした。

明治二十三年、額田郡会議員（現在の市会議員）になりました。その頃、天白用水々利組合の治水委員として、天白用水引込口の板で止めてあった堰（せき）を、石に変えたほうがよいと進言したりしていました。

そして、堰の設計にあたり、工事を竣成しました。氏による工事の効果は大きく、上地南部の用水を充たしました。その結果、その方面の田は二毛作田（夏に米を作り、冬に野菜や麦を



「畔柳五郎工門翁頌徳碑」拓本（高橋由美子教諭作）



作る)になりました。

明治二十七年には、本多與八・小林善四郎・本多九市郎氏等と相談し、新溜・中溜方面を田に変えるために、大谷坂にあった砂防地を灌漑用の溜め池に改造しました。こうして、いくつかの治水工事を手がけた氏は、上地北部の畑に水を引いて田に変えるという、当時としては難工事中の難工事といわれた「大谷坂貯水池工事」に思いをはせるようになりました。

### 3、「大谷坂貯水池工事」への夢

当時の一般的な治水技術としては、高地に灌漑用溜め池をつくり、標高差を利用して、低地にある田に水を送るというものでした。その点から言えば、高地にある大谷坂貯水池から一度、低地に水を落とし、落とした水の圧力で再び高地にある上地北部に水を引き上げるといのは、全く特異な治水構想であったに違いありません。

工事にかかる氏の強い決意とは裏腹に、その成功を危ぶむ声が多く上がりました。時の最有力者であった豊田松四郎氏までもが、

「もし、水が出なかったらどうする。」

と、反対を唱えて詰め寄りました。その時、氏は敢然と、

「もし、水が出なかったら、自分の財産を投げうち、村の人には損はさせない。」

と、言明し、強い決意で成功を誓いました。

その気持ちに圧倒され、豊田氏も、それほどの決心ならばと反対説を引つ込め、その成功を祈ったと言われています。

土管越して高地より低地へ、そしてその吹き上げた噴水を利用して田をうるおすには、現在のように丈夫な土管がなく、精

巧な測量器もなかった当時としては、大変なことであったのです。

### 一、上地北部に開拓の水を

#### 1、サイフォンで水を引く

氏は、この工事に先がけて、金沢の兼六園の水源視察を計画し、数人からなる視察団を派遣しました。この視察において、金沢城の水源である浅野川から土管伏せ工事が行われているのを見聞し、更に、兼六園の噴水を見て、その考えに自信を深めて帰りました。

氏は、サイフォンの原理を応用して、高地より低地へ水を土管で引き、その噴水によって、比較的高台にある上地北部に水を引くことを考えたのです。

そして、いよいよ測量を始めました。測量するに当たり、鋤を立てて、その柄の先に水平に長方形の板を打ち、その板の上に水を盛った杯をのせます。上地馬乗の高台から展望し、藤六の南から上明寺(低地)・荒井(低地)・寂静寺まで、藤六の北から小畑までの測量には、大変な苦勞を要しました。



区画整理による丁目変更前の上地地区

工事着工時の北部耕地は、田四十六町歩、畑二十二町八反歩ありました。そのうち、畑十二町歩もが変換予定地として計画していました。

その一方で、現在の碧南市にある大浜まで、荷車を引いて土管を買いに行くことになりました。村中の人が集まって、一台に十本ずつ積んで一日がかりの作業です。苦心の末に、土管を地下にいけることとなりました。

## 2、工事への期待と疑心不安

氏は、土管に水を引くまでに、多くの村人に様々なかたちでの協力を要請してきました。一反あたり十二円の負担金を納めた村人もありました。

土管を碧南まで買いに行くのに、大きな労働力を提供した村人もいました。それもこれも、大谷坂貯水池から水を引くことで、やせた畑を田に変えて、米を作りたいという強い願いがあつたからです。言うなれば、この難工事に対して、なげなしの負担金と労働力を提供してかすかな期待に賭けたのです。

しかし、水を引いて見ると、地に埋めた土管は水圧によって次々とはせてしまいました。水は低地まで届いても、予期していたように噴水にはなりませんでした。

こうして、貧困な家計から絞り出すようにして供出した資金や労力も水泡に帰してしまいました。村人の淡い期待がもろくも砕け散ってしまうかのようでした。

村人は落胆しました。

そして、反対を唱えた人たちは、それ見たことかと、氏に詰め寄りました。

## 3、「せんをとつてうてば、はせることはない。」

畔柳五郎工門氏は、この失敗にもめげず、また、反対者の厳しい苦言にも関わらず、考えに考えぬきました。ある日のこと氏は一人の獵師に出会いました。

「あなたは毎日、鉄砲を撃っておられるが、鉄砲のはせることはないか。」

と尋ねますと、その獵師は、

「せんをとつて撃てば、はせることは絶対にない。」

と返事しました。

そこで、土管が次々とはぜた理由は空気の圧力によつたことに気づきました。それから、何度も何度も実験を繰り返して、失敗に失敗を重ねる日が続きました。

ろくに夜も寝ずに考えぬいた末に、一大光明を見つけ出すこととなりました。

一尺の長さの土管を、硫黄と川砂などと混ぜた接着剤で縦につなぎ、空気抜きを竹で作って、水を引いてみました。こうして、見事に成功し、ふき上がった噴水を目の前に、大きな歓声が上がりました。氏を中心に、村中こぞって万歳の声が響きわたったと言います。

## 4、小林吾一氏（上地町下屋敷在住）に聞く

昨年十一月初旬、本校長坂信一教諭と上地町下屋敷三十八番地にお住いの小林吾一様をお訪ねしました。八十五才のご高



齢で、土地開発と共に歩いていらつした土地町古老の一人です。お宅には、古くからの土地村関係の諸記録が整理され、まさに上地の生き字引的な存在と言っても言えるお方です。しばらく、氏のお話をご紹介します。

.....  
畔柳五郎エ門氏は、明治二十七年に大谷坂砂防地を灌漑用溜め池に改造後、明治三十二年に土管伏せ工事を起こし、堤入・大谷坂・渋田の三つの用水の増築に着手しました。

これは、私財を投げうっての絶対的成功を誓った工事でした。そのかいあって、上地大谷の地を田に変え、ふき上がる噴水は、向山・荒井や福岡小畑までうるおすことができるようになりました。

実際の用水の仕組みについては、大谷池から馬乗まで引いて、そこから土管で藤六までもっていった後、そこでふき出した水を、小畑や薬師までもっていったようです。そこからは、溝で田に引いて使ったそうです。溝の幅は二尺ほどで、土手を築いたので、一間（けん）程度の幅があったと言います。

水路は、区画整理事業で埋没または取り替えられてしまったので、昔の姿のままでは残っていません。

こんなわけで、正確に言えないのが残念です。

しかし、この水路の完成によって、小畑や薬師は以前はみな畑だったが、田に変わっていったのです。これによって、この上地村の米の生産高が飛躍的に増加したのは、言うに及びません。

ですが、五郎エ門氏の推進した大谷坂貯水池工事の評価については、必ずしも一致したものではありませんでした。

## 二二、『畔柳五郎エ門翁頌徳碑』の建立

### 1、大谷坂貯水池工事は完成したが

この工事によって、用水池自体も三倍程度、田の面積に至っては数倍以上に増えたにも関わらず、小林吾一さんがおっしゃるように、万人が偉業として認めてはいなかったという経過があります。

更に、小林氏さんのお話を続けましょう。

.....  
この工事は、当初、受益者一人当たり負担が二十円ということでした。ところが、でき上がってみると、受益者一人当たりの負担は、倍額の四十円ということになってしまいました。

そのため、工事完成後に自分が受け取るはずであった土地をもう要らないから譲るといふ者まで現れたということです。その上、受益者の負担が倍に膨れ上がった裏側には、畔柳五郎エ門氏が金沢に視察に行った費用や工事中に常宿していた料理屋の費用が含まれているのではないかという不信感が広まってしまったのでしょうか。そんな事が原因になったのか、この工事を偉業として認めなかった人がいたのではと考えられます。

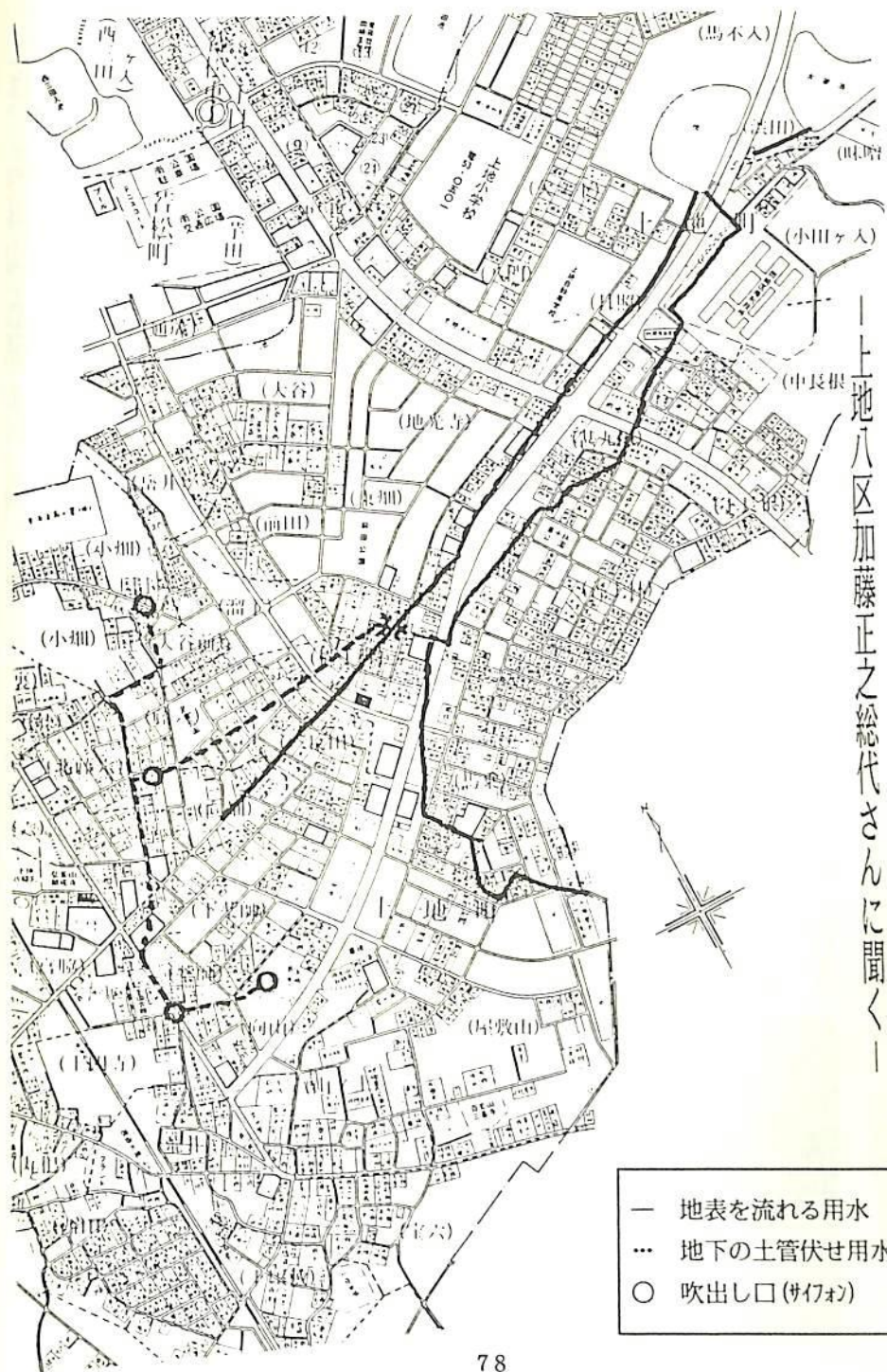


宅地化が進む  
現在の小畑地区



資料「大谷坂貯水池工事」による完成水路略図

―上地八区加藤正之総代さんに聞く―



## 2、「化けてしまった碑石」(一)口教材集より)

こうした事情を記したものに、岡崎市社会科部会の先生たちの手になる「一口教材集」があります。昭和六十二年に発行され、主として小学校三・四年生を対象とした郷土資料です。次に、その関係部分を掲載し、参考にさせていただきます。

### 四年生土教材 「きょうどを開く」

上地町の寂静寺に一つの石碑がある。この碑には、明治二十年代中盤、額田郡の役人として、大谷坂砂防地を灌漑用溜池に改造し、三十二年には堤入・大谷坂・洪田の三用水を増築し、上地北部の土地のほとんどを田に変換した畔柳五郎工門という人物のことが記されている。

これらの工事によって、用水池自体も三倍程度、田の面積に至っては数倍以上に増えた。にもかかわらず、この工事はこのあたりでは、偉業として認められていないのである。

受益者の負担が倍にも膨れ上った裏側に、畔柳五郎工門が金沢に視察に行った費用や常宿していた料理屋の費用が含まれているのではないかとという不信感が、受益者の間に広まったため、この事業が偉業として認められなかったのだろう。

この事業が始まった当時、偉業をたたえる碑を建てる石が用意されたが、工事が完成しても石は二十年程ずっと上地八幡宮の軒先にほっておかれた。そして、上地八幡宮が国宝に指定された時、碑石には「国宝八幡宮」の文字が刻み込まれてしまった。



### 3、畔柳五郎工門翁頌徳碑の全文

#### 畔柳五郎工門翁頌徳碑

畔柳五郎工門八嘉永六年正月八日愛知縣額田郡福岡町大字上地九十三番戸ニ生ル生来慧智至誠ノ人  
明治二十三年選バレテ額田郡會議員トナル當時天白用水水利組合治水委員ニ擧ゲラレ同用水引込口ノ  
板堰ナルヲ石張堰ニ替フルヲ利トシ之ガ設計並ニ工事ヲ竣工セリ其効果多大上地南部ノ用水ヲ充タシ  
同方面ノ田ヲニ毛作田トセリ  
明治二十七年本多與八小林善四郎本多九市郎氏等ト議リ大谷坂砂防地ニ灌漑用水溜ニ改造シ新溜中溜  
ヲ田ニ變換シタリ

明治三十二年土管伏越工事ヲ起シ堤入大谷坂溢田ノ三用水ヲ増築シ上地北部ノ土地大略ヲ田ニ變換シ  
而シテ其ノ噴水ハ向山新井福岡小畑ニ迄沾シ得ルトナシ私財ヲ投シテ之ガ成工ヲ誓ヒ其ノ目的ヲ達成セ  
リ数年後ニ於テ水重ニ不足ヲ來シ桑園化セルヲ遺憾トナス嗚呼氏ノ如キハ心力ト私財トヲ公益ノ為メニ  
盡シ經世ノ實ヲ擧ゲ以テ後世ノ裨益ヲ計レル者ニシテ其智謀ノ卓越セルヲ追憶シ茲ニ其ノ功績ノ一端ヲ  
記スト云爾

無き君の心の程を知る者をやむに止まれず古蓮能石ふみ

伊藤鯉之助書

昭和二十八年八月建立

上地有志

永歌 稲石藤六

### 4、畔柳五郎工門翁頌徳碑現代訳の試み（長坂信一教諭による）

畔柳五郎工門さんは 嘉永六年正月八日愛知県額田郡福岡町大字上地九十三番戸に生れた。生まれつき頭が良く、まじめな人であった。明治二十三年、選ばれて額田郡會議員（今の市會議員）となる。そのころ天白用水水利組合の治水委員になり、天白用水引込口の板で止めたせきを石に変えたほうが良いと、上地南部方面の田を二毛作田（夏に米を作り、冬に野菜や麦を作る）とした。明治二十七年本多與八・小林善四郎・本多九市郎氏たちと相談して、大谷坂の砂防地を灌漑用溜池に改造した。

それから、明治三十二年から土管をうめる工事を始めた。堤入、大谷坂、溢田の三つの用水を増設して上地北部の土地のほとんどを田に変えた。土管からふきでる噴水は、向山、新井、福岡、小畑までうるおすことができると考え、私財（自分の財産）を使って、目的を達成した。ところが数年たつと、水量が不足してきて、そのあたりは、桑畑となつてしまったので、とても残念だ。

畔柳さんは、困難の中で自分のお金も使い、みんなのためにつくし、人々の苦しみを救おうとした。その後の世の中のたすけとなることがわかるような、先を読む力も持っていたようだ。

そこで、これらの功績の一部を忘れないために、ここに記しておくことにした。

もう亡くなってしまった君だけれど、

君が悩み苦勞して、みんなのために尽くしたその心を私が知っているの、  
どうしても、この小さな石碑に残しておきたい。

歌 稲石 藤六

5、句碑「無き君の心の程を知る者を……」

こうして、竣工を期して、偉業者のために記念碑にすべく購入されていた阿部川石は、建立されることなく、上地八幡宮の石灯籠の石掛けにいつまでも放置されていました。そして、ついに、大正末期、上地八幡宮本殿が国宝に指定された折、「国宝上地八幡宮」の文字が刻み込まれてしまったのです。

その後、稲石藤六氏（上地荒井六十二番地）と成瀬彦平氏（上地宝六二十五番地）が寄付をし、田中作次氏（上地荒井七十二番地）が寂靜寺境内に、現在の碑を建立するに至ったということです。

稲石藤六氏のお孫さんが現在福岡上地消防団長の正美さん、成瀬彦平氏のご子息が第一上地区画整理組合副理事長の義信さん、田中作次氏のご子息が上地農園芸ご主人の義兄に当たられます。そして、昨年、記念碑は区画整理事業の完成を機に、現在地の大谷下池のほとりに移転されたのです。

「無き君の 心の程を知る者を やむに止まれず 古連能の石ふみ」

―稲石藤六 歌―



建立された昭和二十八年から、すでに四十年近い歳月が過ぎていきます。そのために、碑文は風化が進み、一部不鮮明になっています。稲石氏の歌にも「古連能」とありますが、以前、「小連能」と読んだ記録もあります。この学校だより編集に当たって、再度鉛筆でこの部分の拓本をしたのが右のコピーです。（佐野佳三・長坂信一教諭による）

ふるさと上地を開いた先人への想いを募らせながら、是非とも春の散策のコースの一つとして訪れてみて下さい。

## 二、校長通信